

資 料 一 覧

- 次 第
- 第7回復興道路会議～宮城県～ 配席図
- 復興道路会議～宮城県～ 構成員
- 復興道路会議～宮城県～ 規約
- 復興道路・復興支援道路の概要
- 復興道路・復興支援道路（宮城県内の概要）
- 資料－1 復興道路・復興支援道路の各路線別進捗状況
- 資料－2 各事業区間の進捗状況
- 資料－3 宮城県の復興道路関連事業の進捗状況
 - 3－1 宮城県
 - 3－2 宮城県教育委員会
 - 3－3 宮城県森林整備課
- 資料－4 復興道路・復興支援道路の「見える化」
【国土交通省の取り組み事例】
- 資料－5 事例発表【宮城県】
- 資料－6 事例発表【宮城県道路公社】
- 資料－7 事例発表【東日本高速道路株式会社】
- 資料－8－1 事例発表【南三陸町】
- 資料－8－2 事例発表【登米市】
- 資料－8－3 事例発表【気仙沼市】
- 資料－8－4 事例発表【東松島市】
- 資料－9 復興道路・復興支援道路の整備効果事例発信

第 7 回 復 興 道 路 会 議 ～宮城県～

日 時：平成 29 年 6 月 20 日（火）

14：30～

場 所：宮城県自治会館 203 会議室

議 事 次 第

1. 挨拶

国土交通省 東北地方整備局 道路部長

宮城県 土木部長

2. 議 事

1) 復興道路・復興支援道路の今後の進め方
について

資料 1～4

2) 復興道路等を活かした地域振興支援策、
地域づくり事例の情報共有について

資料 5～9

3) その他

日時：平成29年6月20日(火)
14:30～
場所：宮城県自治会館 203会議室

第7回 復興道路会議～宮城県～ 配席図

宮城県 教育委員会教育長 高橋 仁
(代理 理事兼教育次長 西村 晃二)
宮城県 農林水産部長 武藤 伸子
(代理 森林整備課長 田中 均)
宮城県 土木部長 櫻井 雅之
東北地方整備局 道路部長 山田 哲也
復興庁 宮城復興局次長 鈴木 孝文
(代理 参事官 熱海 裕章)

仙台市副市長 稲葉 信義
(代理 建設局次長 小高 睦)

塩竈市副市長 内形 繁夫
(代理 建設部長 佐藤 達也)

登米市副市長 栗山 健作
(代理 建設部長 中津川 源正)

東松島副市長 古山 守夫

利府町副町長 伊藤 三男
(代理 都市整備課 都市整備班 班長 近江 信治)

南三陸町副町長 最知 明広

石巻市副市長 菅原 秀幸

気仙沼市副市長 菅沼 真澄
(代理 三陸道・大島架橋・唐桑 最短道整備促進課長 齋藤 潤)

栗原市副市長 千葉 章
(代理 建設課管理係長 佐々木 明博)

松島町副町長 熊谷 清一
(代理 建設課長 赤間 春夫)

女川町副町長 東野 真人

宮城県商工会議所連合会
常任幹事 今野 薫
(代理 地域づくり推進グループ 課長 庄子 美樹)

事務局

宮城県 道路課長 菅野 洋一
東北地方整備局 道路計画第一課長 舟波 昭一
東北地方整備局 仙台河川国道事務所長 松居 茂久
東日本高速道路(株) 東北支社 建設事業部長 澤田石 貞彦
宮城県道路公社 建設部長 伊藤 多寿治
仙台経済同友会 事業局長 川嶋 輝彦
(代理 事務局次長 平賀 俊)

随
行
席

随
行
席

出 入 口

記者席

随
行
席

出 入 口

「復興道路会議～宮城県～」

役 職 名	氏 名
宮城県土木部長	櫻井 雅之
宮城県農林水産部長	武藤 伸子
宮城県教育委員会教育長	高橋 仁
仙台市副市長	稲葉 信義
石巻市副市長	菅原 秀幸
塩竈市副市長	内形 繁夫
気仙沼市副市長	菅沼 真澄
多賀城市副市長	鈴木 明広
登米市副市長	栗山 健作
栗原市副市長	千葉 章
東松島市副市長	古山 守夫
松島町副町長	熊谷 清一
利府町副町長	伊藤 三男
女川町副町長	東野 真人
南三陸町副町長	最知 明広
宮城県道路公社 建設部長	伊藤 多寿治
一般社団法人東北経済連合会 専務理事	大江 修
宮城県商工会議所連合会 常任幹事	今野 薫
仙台経済同友会 事務局長	川嶋 輝彦
東日本高速道路株式会社東北支社 建設事業部長	澤田石 貞彦
復興庁 宮城復興局次長	鈴木 孝文
国土交通省 東北地方整備局 道路部長	山田 哲也
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所長	松居 茂久

敬称略

復興道路会議～宮城県～

規約

(名 称)

第1条 本会議は、「復興道路会議～宮城県～」と称する。

(目 的)

第2条 本会議は、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとなる復興道路等の早期完成を図るため、全ての関係者に対する事業進捗への合意形成と、国・県・市町村・関係機関の連携による課題解決を目的として開催する。

(協議事項)

第3条 本会議は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる連絡及び調整を行う。

- 一 事業の合意形成に関する事項
- 二 事業促進の課題解決に関する事項
- 三 その他本会の目的を達成するために必要な事項

(対象事業)

第4条 本会議で対象とする復興道路は、以下のとおりとする。

- 一 三陸沿岸道路
- 二 その他

(組 織)

第5条 本会議は、以下の構成員をもって組織する。

- 一 宮城県、復興庁 宮城復興局
国土交通省 東北地方整備局、東日本高速道路(株)東北支社
- 二 復興道路等の関係市町村
- 三 地域経済界

(事務局)

第6条 本会議の庶務は、宮城県土木部及び国土交通省東北地方整備局道路部において処理する。

(雑 則)

第7条 この規約に定めるもののほか、本会議の運営に関して必要な事項は会議において定める。

復興道路・復興支援道路の概要

H29.3.31現在

国土交通省が中心となって整備を行っている
復興道路・復興支援道路の路線全長550km
[震災後新規区間223km(約4割)]



三陸沿岸道路 359 km
[震災後新規区間 148 km]

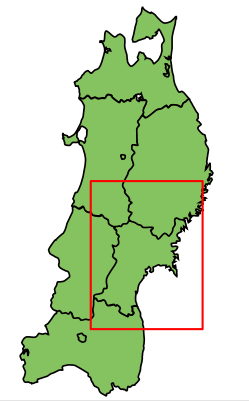
路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	
			うち震災後開通	うち震災後新規
三陸沿岸道路	約 359km	170km	41km	189km
宮古盛岡横断道路	約 66km	24km	23km	42km
東北横断道釜石秋田線(釜石～花巻)	約 80km	63km	33km	17km
東北中央道(相馬～福島)	約 45km	11km	11km	34km
計	約 550km	268km	108km	282km
みやぎ県北高速幹線道路	約 24km	9km	9km	11km

宮城県内の概要

H29.3.31現在



広域図



みやぎ県北高速幹線道路 約20km



宮城県

三陸沿岸道路約359km (宮城県内126km)

4車線化事業

H28.10.28開通見通し公表区間
H29開通予定区間

- 凡例
- 供用中
 - 事業中(開通見通し公表)
 - 事業中(開通見通し未公表)
 - 現道活用区間
 - 調査中
 - H23補正新規箇所
 - H25補正新規箇所
 - 4車線化計画箇所

東北中央自動車道 (相馬～福島) 約45km



路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	
			うち震災後開通	うち震災後新規
三陸沿岸道路	約 359km	170km	41km	189km
うち、宮城県	約 126km	88km	14km	38km
宮古盛岡横断道路	約 66km	24km	23km	42km
東北横断道釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	63km	33km	17km
東北中央道 (相馬～福島)	約 45km	11km	11km	34km
合計	約 550km	268km	108km	282km
うち、宮城県	約 126km	88km	14km	38km
三陸沿岸道路 4車線化	約 52km	52km	52km	0km
【宮城県】 みやぎ県北高速幹線道路	約 20km	9km	9km	11km

復興道路・復興支援道路の各路線別進捗状況

資料一-1

《平成28年度の進捗状況》

- 復興道路・復興支援道路の用地買収は概成し、主要構造物完成率は約5割まで進捗
- 登米津川道路(11.1km)と南三陸道路(3.0km)の開通により、三陸沿岸道路が太平洋沿岸の被災自治体まで延伸
- 阿武隈東道路(10.5km)の開通により、復興支援道路である東北中央自動車道では初めての開通
- 矢本石巻道路(12.1km)の4車線開通により、三陸沿岸道路の4車線化計画区間が全線開通(計画延長約52km)

路線名	計画延長	開通延長	事業中延長	用地進捗率※1	工事着手率※2	主要構造物着手率※3	主要構造物完成率※4	トンネル掘削進捗率※5	橋の上部工着手率※6	
									トンネル掘削進捗率※5	橋の上部工着手率※6
三陸沿岸道路	約 359km	156km	203km	約95%	100%	約80%	約40%	約70%	約60%	約70%
		170km	189km	約99%	100%	約90%	約55%	約85%	約70%	約70%
宮古盛岡横断道路	約 66km	24km	42km	約99%	100%	約60%	約35%	約20%	約45%	約45%
		24km	42km	約99%	100%	約75%	約40%	約40%	約45%	約45%
東北横断道釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	63km	17km	約99%	100%	約80%	約65%	約95%	約65%	約65%
		63km	17km	約99%	100%	約99%	約65%	100%	約90%	約90%
東北中央道 (相馬～福島)	約 45km	0km	45km	約94%	100%	約70%	約40%	約80%	約55%	約55%
		11km	34km	約97%	100%	約75%	約55%	約85%	約65%	約65%
合計	約 550km	243km	307km	約96%	100%	約75%	約40%	約60%	約55%	約55%
		268km	282km	約99%	100%	約85%	約50%	約70%	約70%	約70%

三陸沿岸道路(4車線化)	約 52km	40km	12km	100%	100%	100%	100%	—	100%	100%
		52km	0km	100%	100%	100%	100%	—	100%	100%

【宮城県】 みやぎ県北高速幹線道路	約 20km	9km	11km	約94%	100%	約70%	約65%	—	約65%	約65%
		9km	11km	約99%	100%	約90%	約65%	—	約70%	約70%

※1. 用地進捗率=取得済面積(ha)/必要面積(ha)
 ※2. 工事着手率=工事に着手した区間延長/計画区間延長
 ※3. 主要構造物着手率=(着手済+完成済構造物数)/全構造物数
 ※4. 主要構造物完成率=完成済構造物数/全構造物数
 ※5. トンネル掘削進捗率=トンネル掘削延長/計画区間延長
 ※6. 橋の上部工着手率=(上部工着手済+完成済橋梁数)/全橋梁数

【宮城県】各事業区間の進捗状況

路線名	事業区間名	延長	開通予定	用地進捗率 (面積ベース) ※1	埋蔵文化財 調査完了率 ※2	保安林解除 ※3	事業進捗上の課題
三陸沿岸道路							
	唐桑高田道路 (唐桑北～陸前高田)	10.0km (2.0km)	H30年度	約99% 100%	100% 100%	対象外	
	唐桑道路	3.0km	H22.12.19開通				
	気仙沼道路 (気仙沼～唐桑南)	9.0km	一部 H31年度	約80% 約92%	約35% 約35%	1箇所/3箇所解除済 2箇所/3箇所解除済	大規模構造物工事の推進
	本吉気仙沼道路	7.1km	H29年度	100% 100%	100% 100%	対象外	
	本吉気仙沼道路 (Ⅱ期)	4.0km	H30年度	約99% 100%	対象外	対象外	
	歌津本吉道路 (歌津～本吉)	12.0km	一部 H30年度 一部 H32年度	約99% 100%	約95% 100%	対象外	
	南三陸道路	7.2km	H29年度 (一部 H29.3.20開通)	100% 100%	100% 100%	対象外	
	登米志津川道路	16.1km	H28.10.30開通 (一部 H28.4.16開通)				
	桃生登米道路	13.8km	H21.3.22開通				
	矢本石巻道路 (4車線化)	26.5km	H29.3.30 4車線化完				
	仙台松島道路 (4車線化)	18.3km	H27.3.30 4車線化完				
	仙塩道路 (4車線化)	7.8km	H28.3.27 4車線化完				

※1: 用地進捗率＝取得済面積(ha)／必要面積(ha)
 ※2: 埋蔵文化財調査完了率＝本調査完了面積(ha)／調査対象面積(ha)
 ※3: 保安林解除申請状況はH29.6現在

みやぎ県北高速幹線道路（復興支援道路）の進捗状況

1) I 期区間（栗原市築館加倉～登米市迫町北方） 延長 L=8.9km

【平成 23 年 11 月 24 日供用開始】

2) II 期区間（中田工区：登米市迫町佐沼～登米市中田町宝江） 延長 L=4.7km

【平成 29 年度供用予定】

○事業着手年度：平成 23 年度

○平成 29 年度は舗装工事や道路情報表示版設置工事を推進。

3) III 期区間（佐沼工区：登米市迫町北方

～登米市迫町佐沼） 延長約 L=3.6km

【平成 32 年度供用予定】

○事業着手年度：平成 25 年度

○平成 29 年度は引き続き用地買収を進めるとともに、地盤改良工事や橋梁下部工工事を推進。

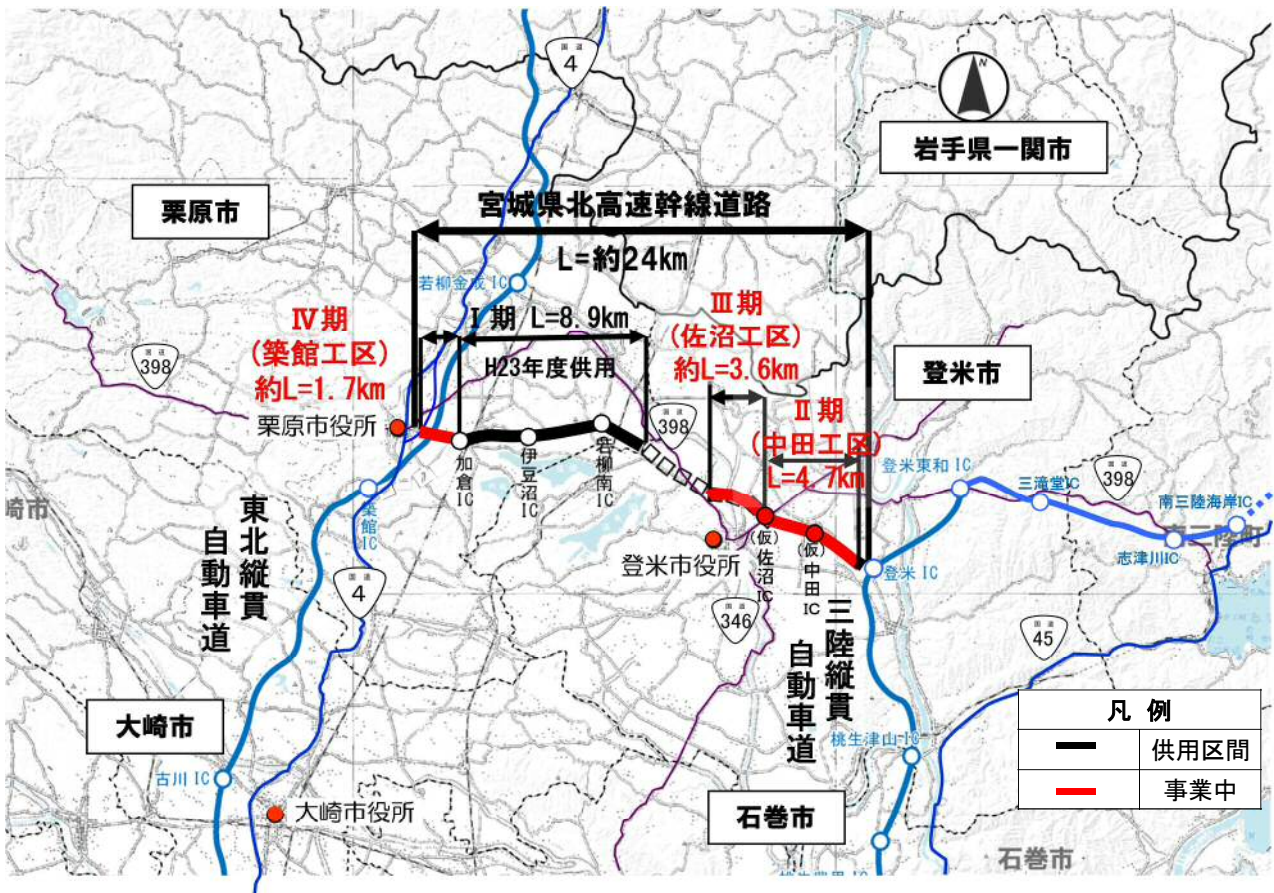
4) IV 期区間（築館工区：栗原市志波姫南堀口～

栗原市築館萩沢） 延長約 L=1.7km

【平成 30 年度供用予定】

○事業着手年度：平成 25 年度

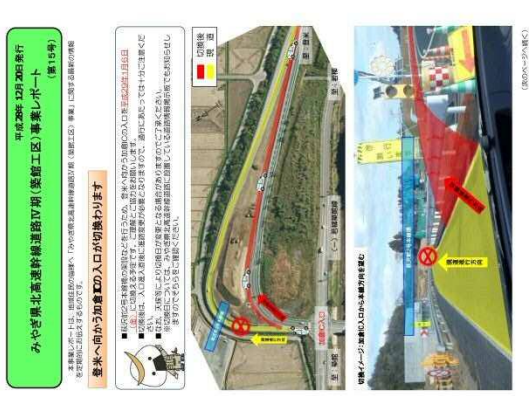
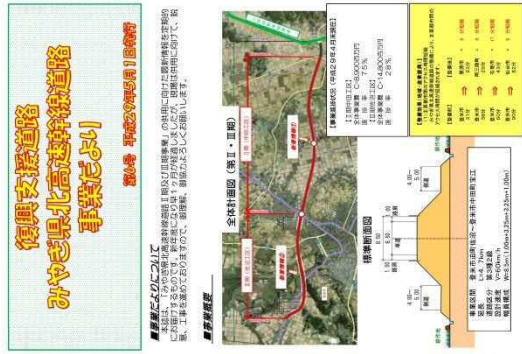
○平成 29 年度は盛土工事を推進するとともに、橋梁上部工工事などを推進。



■これまでの取り組み事例

○県地方機関のホームページによる住民への情報提供

- ◆内容 … 事業目的、整備効果、工事進捗状況等



みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期Ⅲ期 事業だより（登米地域事務所）

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期事業 レポート（栗原地域事務所）

○橋の日（8月4日）パネル展の開催（登米地域事務所）

- ◆8月4日は「橋の日」として、私達の生活と文化に密接な関わりを持つ橋について興味を持っていただくため、大手ショッピングセンターのご協力のもと、橋の日パネル展を開催しました。
- ◆パネルでは、Ⅲ期佐沼工区で計画している橋梁などの構造物の紹介や、全体の事業計画などを展示しました。

◇日時：平成28年8月4日～17日
◇場所：イオンタウン佐沼 店内通路

○ラジオによる事業PR

- ◆内容
登米市のコミュニティFM局 **H@!FM**（はつとエフエム）にて、みやぎ県北高速幹線道路の事業目的や現在の工事内容等が放送されました。

- ◆放送日
◆平成29年2月1日～2月3日
- ◆次回放送予定
◆平成29年7月

放送予定：2月1日(水) 8:22頃 2月2日(木) 2月3日(金) 17:45頃

2月 みやぎ県北高速幹線道路特設番組

3月 9.11災害の復興支援番組（長沼ダム）

6月 工事進捗への質疑 今後の放送予定

7月 橋の日、県北高速幹線道路特設番組

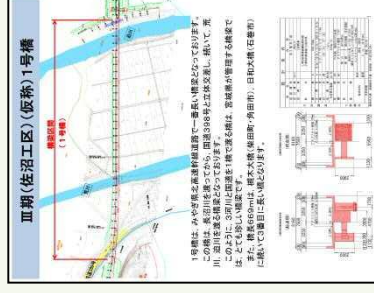
9月 スマイルポーター一斉報告会

11月 新しい道路の原簿（朝日戸沼町）

放送が面白くなって、リアルタイムで情報出てきます。ハコワ5、JTB東北支店コミュニティ放送協会のHPで放送を聴き逃してしまっただけのために... 登米市ホームページで音声聴くことができます。



パネル展の状況



パネル内容例

復興道路建設に関連する埋蔵文化財調査について

宮城県教育委員会

I. 円滑・迅速な発掘調査の実施のための施策

- 1. 発掘調査基準の弾力的な運用
- 2. 発掘調査体制の充実

平成 24～28 年度は他県市から自治法派遣職員の応援を得て調査を実施

II. 復興道路に伴う発掘調査の進捗状況

①三陸沿岸道路

- ◆仙塩道路（多賀城 I C 周辺）：平成 26 年度までに調査を完了
- ◆歌津 I C～岩手県境：平成 28 年度までに 8 遺跡の調査を完了
平成 29 年度以降は 2 遺跡の調査を予定

②みやぎ県北高速幹線道路

- ◆築館工区：平成 28 年度までに調査をほぼ完了，平成 29 年度に一部調査予定
- ◆登米工区：平成 28 年度に調査を完了

③常磐自動車道路

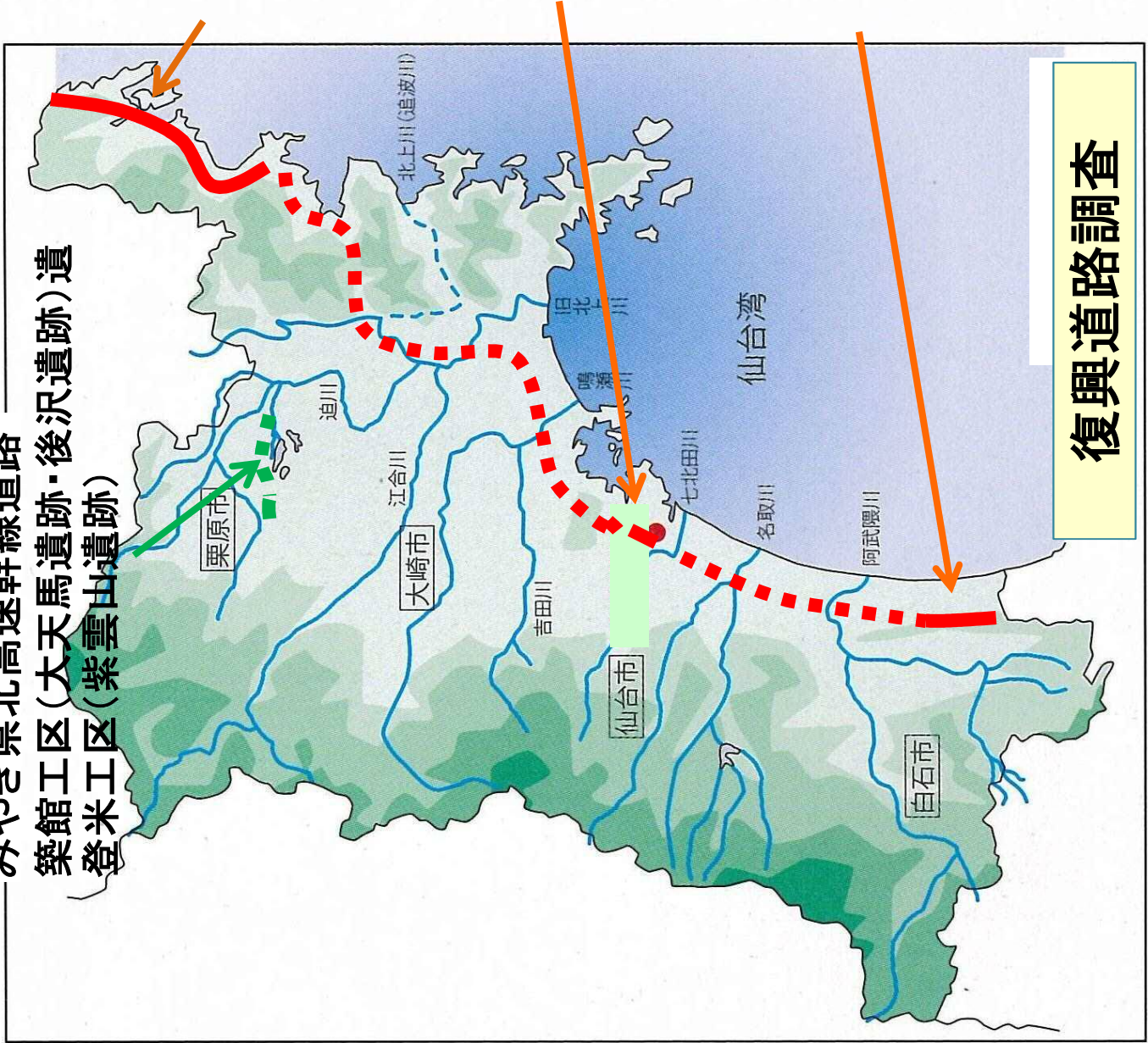
- ◆山元 I C～福島県境：宮城県教委と山元町教委が分担して調査を実施し，平成 27 年度までに調査を完了
- ◆亘理 I C～山元 I C：平成 28 年度に完了

三陸沿岸道路	地区名	遺跡名	発掘調査面積 (㎡)	調査年度								
				～23	24	25	26	27	28	29	30	
仙塩道路 (多賀城IC 周辺)	本線4車線化部	山王遺跡	5,720		●							
	多賀城IC部	山王遺跡 市川橋遺跡	24,600		●	●	●					
歌津IC～ 岩手県境	本吉地区	石川原遺跡	1,979		●			●	●			
		道貫館跡	706	●								
		卯名沢貝塚 卯名沢古墳群	255				●		●			
		高谷貝塚	30	●								
	気仙沼地区	寺沢遺跡	310		●							
		長平遺跡	741	●								
		小屋館城跡	3,000 (約3,000)				●	●	●		○ 6～8	○ 上半期
		忍館城跡	(約4,000)								○ 9～12	
		唐桑地区	台の下遺跡	140			●					
	みやぎ県 北道路	築館工区	大天馬遺跡	1,600 (約20)					●	●		
後沢遺跡			2,300					●	●		○	
登米工区		紫雲山遺跡	3,200						●			
常磐自動 車道	山元IC～ 福島県境	24遺跡(涌沢遺・ 谷原遺跡ほか)	21,930	●								
			41,075		●	●		●				
										●調査実施 ○調査予定		

みやぎ県北高速幹線道路

築館工区(大天馬遺跡・後沢遺跡)遺

登米工区(紫雲山遺跡)



三陸沿岸道路

歌津IC～岩手県境
(小屋館城跡・忍館城跡)

三陸沿岸道路

仙塩道路(多賀城IC周辺)
(山王遺跡・市川橋遺跡)

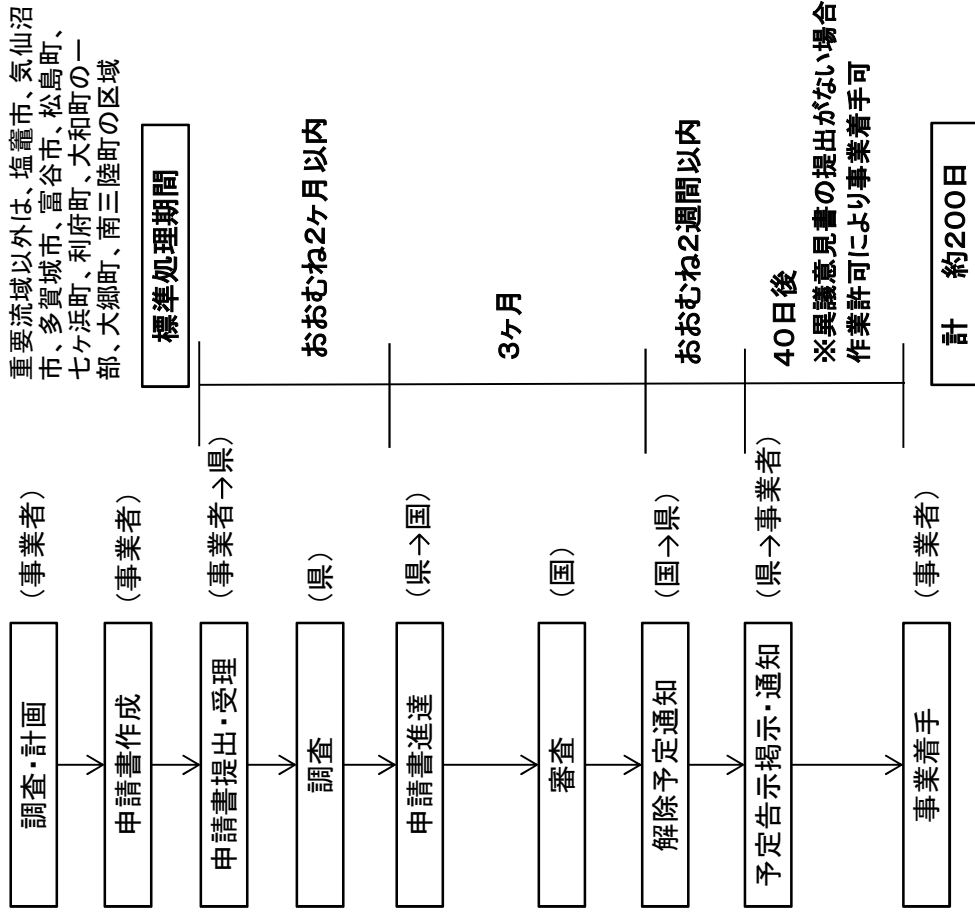
常磐自動車道路

山元IC～福島県境
(涌沢遺跡など24遺跡)

復興道路調査

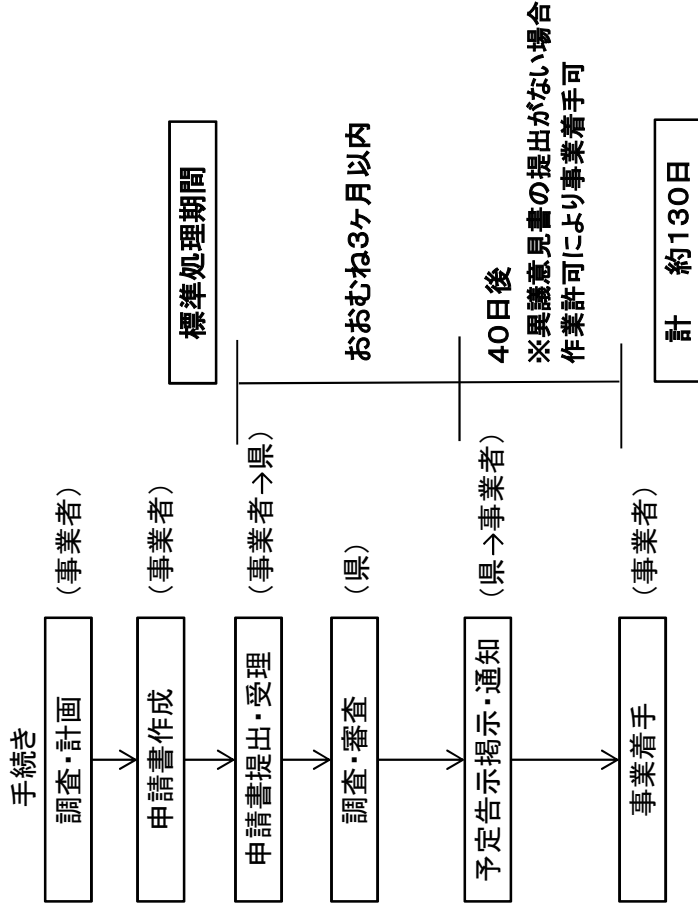
保安林解除に関する事業着手までの手続き（大臣権限）

※重要流域内で1～3号（水源かん養、土砂流出防備、土砂崩壊防備）の保安林



※震災復興に係る保安林解除については、国では迅速に処理する方針であり、県においても本庁直轄により処理することで事務の迅速化を図る。

保安林解除に関する事業着手までの手続き（知事権限）



※震災復興に係る保安林解除については、迅速に処理する方針であり、審査期間等の短縮を図る。

復興道路に係る保安林解除予定

申請(予定)年度	事業名	事業主体	保安林の所在	保安林種	解除面積(ha)	申請年月日	予告示年月日	確定告示年月日	備考
平成28年度	三陸沿岸道路(気仙沼唐桑南間)	国土交通省東北地方整備局	気仙沼市浪板地内	土砂崩壊防備保安林	0.3513	平成28年9月29日	平成29年5月12日		大臣権限

道路建設に係る保安林解除状況

申請年度	事業名	事業主体	保安林の所在	保安林種	解除面積(ha)	申請年月日	予告示年月日	確定告示年月日	申請から着手までの日数	備考
平成22年度	常磐自動車道福島県境山元C間	東日本高速道路株式会社	亙理郡山元町直庭地内	土砂流出防備保安林	0.2377	平成22年10月6日	平成24年5月15日	平成24年8月16日	628日	大臣権限
平成23年度	三陸縦貫自動車道登米志津川道路改築事業	国土交通省東北地方整備局	登米市東和町米谷地内	水源かん養保安林	14.2273	平成23年5月31日	平成23年8月9日	平成24年2月27日	111日	大臣権限
平成24年度	常磐自動車道福島県境山元C間	東日本高速道路株式会社	亙理郡山元町浅生原地内	土砂流出防備保安林	0.0188	平成24年4月12日	平成25年4月23日	平成25年9月26日	417日	大臣権限
平成25年度	一般県道大島波板線道路改良工事	宮城県気仙沼土木事務所	気仙沼市磯草地内	魚つき保安林	0.2633	平成25年7月11日	平成25年10月4日	平成25年11月15日	126日	知事権限
平成25年度	一般県道大島波板線道路改良工事	宮城県気仙沼土木事務所	気仙沼市少々汐地内	土砂崩壊防備保安林	0.1011	平成25年12月2日	平成26年1月17日	平成26年4月17日	87日	大臣権限
平成27年度	(国)398号御前浜(2)道路災害復旧工事	宮城県東部土木事務所	牡鹿郡女川町御前浜字大石角地内	魚つき保安林	0.0159	平成26年6月24日	平成27年2月10日	平成27年5月1日	272日	大臣権限
平成27年度	(国)398号崎山(7)道路災害復旧工事	宮城県東部土木事務所	牡鹿郡女川町崎山字崎山地内	魚つき保安林	0.0224	平成26年12月17日	平成27年4月24日	平成27年7月15日	169日	大臣権限
平成28年度	(主)奥松島松島公園線道路改良工事	宮城県東部土木事務所	東松島市野蒜字洲崎地内	飛砂・潮害防備保安林	0.4023	平成27年11月24日	平成28年3月8日	平成28年5月13日	146日	知事権限
平成28年度	(国)398号相川復興道路事業	宮城県東部土木事務所	石巻市北上町十三兵字小泊地内	土砂流出防備保安林	0.0380	平成27年12月8日	平成28年4月12日	平成28年8月22日	167日	大臣権限

復興道路・復興支援道路の「見える化」（平成２８年度）

- 起工式、現場見学会、自治体での事業進捗等の見える化を紹介
- 東北地方整備局の復興道路ホームページで情報発信

◆復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み

○住民参加による各種式典の開催

- ・式典への住民参加事例を紹介

○現場見学会における進捗状況の説明

- ・夏休みを活用した現場見学会を紹介

○市町村役場等における進捗状況発信

- ・市町村役場、道の駅、観光施設等においてモニター、説明看板、かわら版、ホームページによる情報発信を紹介

○地域とのコミュニケーションを重視した取り組み

- ・施工企業のCSR活動の見える化を紹介

◆市町村別における「見える化」の取り組み

○岩手県内

- ・市町村で実施する現場見学会や広報に掲載等の取り組みを紹介
- ・好事例を紹介

○宮城県内

- ・市町村で実施する現場見学会や広報に掲載等の取り組みを紹介
- ・好事例を紹介

○福島県内

- ・市町村で実施する現場見学会や広報に掲載等の取り組みを紹介
- ・好事例を紹介

復興道路・復興支援道路の見える化（平成28年度）

～国土交通省が中心となって整備を進めている路線550kmのうち
268kmが開通済み、235kmが開通見通し公表済み～



◇起工式・貫通式等

式典20回開催
新聞報道33回
テレビ放映14回

三陸沿岸道路 吉浜釜石道路
(岩手県釜石市) (H28年6月)



◇現場見学会等

144回開催
約3,810人参加

三陸沿岸道路 気仙沼道路
(宮城県気仙沼市) (H28年10月)



◇市町村等での進捗状況等の発信

- ・市町村ロビー 34箇所
- ・道の駅等 37箇所
- ・現地看板 61箇所

合計132箇所で進捗状況等の発信を行った。

相馬福島道路 (福島県福島市)



◇HP等による情報発信

3.11 復興道路・復興支援道路情報サイト

このホームページは、「復興道路」「復興支援道路」の進捗状況を国民の皆様方にお伝えするために作成しているものです。

復興道路

復興道路の概要 | 事業進捗状況 | 開通日誌 | 道路状況情報 | 各府のお問合せ | リンク

◎整備効果事例を掲載しました

復興道路・復興支援道路の概要

下の地名・市町村名・路線名をクリックすると詳細ページへ移動します。

↑ここから↑

●記者発表

- 平成29年
 - 6月14日 復興道路・復興支援道路の進捗に関する一宮市での記者発表
 - 6月28日 【@鳥取県】 復興道路・復興支援道路の進捗に関する記者発表
 - 6月18日 【宮城県気仙沼市】 復興道路・復興支援道路の進捗に関する記者発表

●進捗に関する新規情報

- 6月31日 「宮城県気仙沼市 復興道路 下川トンネル」(仮) 安全確認の開催状況を掲載しました。
- 4月28日 「復興道路 豊後道路 豊後・中津川合同建設現場」の開催状況を掲載しました。
- 3月20日 「復興道路 福島県道 新小大橋建設」の開催状況を掲載しました。

●県別進捗状況

- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 福島県

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(1)

●住民参加による各種式典の開催

- ◆工事の節目に行う式典（貫通式、連結式等）において住民参加の各種式典を開催。
- ◆工事の進捗状況について理解を深め、地域とのコミュニケーションを重視。

【三陸沿岸道路 吉浜釜石道路】

よしはまかまいし

しんくわだい

新釜台トンネル（仮称）貫通式

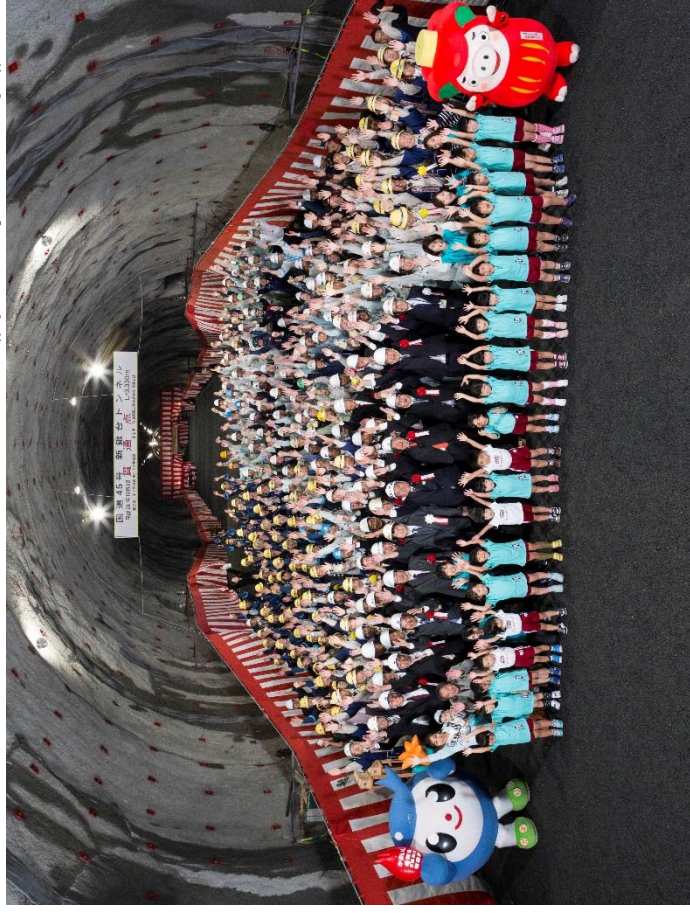
《岩手県釜石市》

【相馬福島道路 相馬西道路】

そうまにし

えんぶち

円渚トンネル（仮称）貫通式《福島県相馬市》



▲三陸沿岸道路最長（約3,330m）となるトンネルの貫通式に、地域の方々等を招き開催。（H28. 10. 3）

▲地元小学生等を招き開催。（H28. 8. 4）

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(2)

●現場見学会における進捗状況の説明

- ◆小中学生や地域の方々、土木を専門に学んでいる高校生・大学生、復興道路等の事業を支援していただいている団体や自治体等、様々な方々が現場見学会に参加。
- ◆夏休み活用し、親子で参加できる工夫を凝らした現場見学会を開催。

くざかい
【宮古盛岡横断道路 区界道路】
自治体職員による現場見学会

《岩手県盛岡市》



▲ 区界道路を見学 (H28. 7. 29)

からくわたかだ
【三陸沿岸道路 唐桑高田道路】
地元の小学生による現場見学会

《宮城県気仙沼市》



▲ (仮称) 県境トンネルを見学 (H28. 7. 31)

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(3)

●市町村役場等における進捗状況発信

- ◆地域の方々が集まる市町村役場、道の駅や観光客が集まる観光施設等においてモニター、かわら版、ホームページ等を活用し、復興道路等の必要性や工事の進捗状況を発信。
- ◆地域の方々や道路利用者、観光客等を対象に進捗状況の見える化の取り組みを実施。

①復興道路等の沿線市町村ロビー等における情報提供の工夫



▲市役所の1階ロビーでモニターにより情報を発信（岩手県宮古市）



▲市役所2階の廊下に進捗状況等を紹介するかわら版を掲示（福島県相馬市）

③現場広報ポイントにおける説明看板の工夫



▲「吉浜釜石道路 荒川トンネル」では説明看板に三次元平面図を活用（岩手県釜石市）



▲統一看板への開通目標の掲示（福島県伊達市）

②沿線道の駅等における情報提供の工夫



▲道の駅「上品の郷」にて整備箇所の写真などを掲示（宮城県石巻市）



▲道の駅「やまびこ館」にて工事進捗状況の発信（岩手県宮古市）

④「かわら版」やHPによる情報発信



▲進捗状況をお知らせする「かわら版」



▲東北地方整備局の復興道路ポータルサイト（H.P）

復興道路・復興支援道路の見える化の取り組み(4)

●地域とのコミュニケーションを重視した取り組み

- ◆次代を担う子供たちを含めた地域とのコミュニケーションをより重視して、施工企業のCSR活動とともに見える化の取り組みを実施。
- ・三陸沿岸道路山田宮古道路では、宮古警察署及び津軽石小学校と協力し、子ども達の安全確保及びパトロール隊と警察の連携強化を図る活動の一環として、“「こども110番」パトロール隊声かけ訓練”を実施。
- ・相馬福島道路霊山道路では、地元の方を招き、現場内のウォーキングを実施。

【三陸沿岸道路 山田宮古道路】
安全連絡協議会 《岩手県宮古市》

【相馬福島道路 霊山道路】
川向地区道路改良工事外
《福島県伊達市》



▲地域の小学校の生徒の皆様と『こども110番パトロール隊声かけ実施訓練』を実施 (H28. 4. 15)



▲現場内を歩く参加者
(H28. 10. 25)



▼現場で説明

○ 市町村別における「見える化」の取り組み 【岩手県】

盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・築川福祉センター(築川支所)に宮古盛岡横断道路事業概要パネル及び新区界トンネル工事進捗パネルを設置 ・松園連絡所(公民館)、中央公民館、上田公民館、区界高原少年自然の家、プラザおでつ(観光文化情報プラザ)に「宮古盛岡横断道路通信」を配布
宮古市	<ul style="list-style-type: none"> ・川井総合事務所、新里総合事務所に宮古盛岡横断道路事業概要パネル及び新区界トンネル工事進捗パネルを設置 ・道の駅に事業紹介展示コーナーを確保 ・市役所ロビーでの工事進捗情報提供モニター及び工事進捗チラシの設置 ・三陸国道事務所と共催で事業進捗パネル展を開催 ・道の駅「たろう」仮オープンイベントにて、事業紹介展示コーナーの設置【事例1】 ・道の日in宮古 クリーン作戦への参加(宮古道路をまもる会) ・田老地区運動会の際のパネル展開催 ・市広報でパネル展開催のお知らせや、工事進捗「宮古箱石道路の貫通式」を掲載
大船渡市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所ロビーにモニターを設置し工事進捗状況をお知らせ(H25.1～継続) ・市役所ロビー吉浜地区拠点センター、道の駅「さんりく」で「工事状況のお知らせ」を配布
久慈市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所・支所・公民館等での工事進捗チラシの設置、HPへの掲載 ・市広報紙に工事進捗状況を掲載 ・久慈秋祭りにおける「北リアスみちづくり女性の会」と合同による道路整備促進啓発活動(チラシの配布)の実施
遠野市	<ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅」遠野風の丘に事業進捗パネルを設置 ・市役所ロビー及び後方支援資料館に事業進捗パネル等を設置(H27.3～)
陸前高田市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所、及び復興まちづくり情報館に「工事状況のお知らせチラシ」を配置 ・「復興まちづくり情報館」に復興道路等の工事進捗をお知らせするモニター、パネルを設置
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所市民課及び各生活応援センターで「工事状況のお知らせ」を配布 ・市役所市民課に復興道路等の工事進捗をお知らせするモニターを設置(継続) ・道の駅「釜石仙人峠」内で「釜石道路かわら版」を掲示・配布、モニターにより完成イメージCGを放映 ・市作成の「撓まず屈せず～復旧・復興の歩み～」で復興道路について連載【事例2】
大槌町	<ul style="list-style-type: none"> ・大槌町役場、中央公民館に「かわら版」を掲示、配布 ・役場ロビー及びショッピングセンターに復興道路等の工事進捗をお知らせするモニターを設置
山田町	<ul style="list-style-type: none"> ・役場及び町民ホールでの工事進捗チラシの設置 ・町民ホールでの工事進捗情報提供モニターの設置 ・町広報紙とともに工事進捗チラシの配布 ・観光協会ブログで工事進捗を発信 ・山田町ウオーキングイベントとして、山田宮古道路を会場として提供(約3.5km)
岩泉町	<ul style="list-style-type: none"> ・役場での工事進捗チラシの設置 ・工事進捗チラシの施工業者との連名発行、町内回覧とともに工事進捗チラシの配布 ・町広報紙に工事進捗状況を掲載
田野畑村	<ul style="list-style-type: none"> ・役場での工事進捗チラシの設置 ・田野畑牛乳フェアの際のパネル展開催 ・村広報紙に協議会における清掃活動や現場見学会記事などを掲載
普代村	<ul style="list-style-type: none"> ・役場での工事進捗チラシの設置 ・村広報紙に工事内容、施工業者の紹介記事を掲載 ・ふだいまるごと元気市の際のパネル展開催
野田村	<ul style="list-style-type: none"> ・役場内電子掲示板での工事進捗状況の提供 ・地区回覧とともに工事進捗チラシの配布 ・村広報紙に工事進捗状況を掲載
洋野町	<ul style="list-style-type: none"> ・町役場ロビーでのパネルの展示設置 ・町役場(支所)、郵便局、町公共施設に工事進捗チラシを配布 ・町内イベント(文化祭等)の際のパネル展開催 ・いわて国体開催期間中の交通輸送業務に協力(臨時駐車場地を提供)

【事例1】道の駅「たろう」仮オープンイベントにて、
事業紹介展示コーナーの設置（宮古市）



【事例2】市作成の「撓まず屈せず～復旧・復興の歩み～」
で復興道路について連載（釜石市）



産業（なりわい）の再生 IV



●工事進捗状況について
南三陸自動車事務所が工事を担当する区間のうち、釜石市内では三陸沿岸道路の「吉浜釜石道路」「釜石山田道路」、東北横断自動車道釜石秋田線「釜石道路」の各工事区間でトンネルや橋りょう、インターチェンジ等の工事が順調に進んでいます。復興道路等の工事進捗状況は、南三陸自動車事務所のホームページでご覧いただけるほか、市役所市民課及び各地区協議センター等で配布している工事チラシでご覧いただけます。



【宮城県】

石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ・病院イベント(赤十字健康まつり)において復興道路の整備状況パネル展を開催。【事例1】 ・市の総合防災訓練において三陸沿岸道路の避難階段を利用した訓練を実施。 ・市政教室において三陸沿岸道路の4車線化工事を紹介。
塩竈市	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報誌で復興特集を毎月掲載。 ・平成25年9月より、市役所ロビーに復興情報コーナーを設置。 ・宮城県と塩竈市が連携し、市内大型商業施設に復興情報コーナーを設置。
気仙沼市	<ul style="list-style-type: none"> ・「海の市」に気仙沼湾横断橋の模型を展示。 ・「海の市」において復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示。 ・市広報誌で三陸沿岸道路の進捗情報を掲載。【事例2】
登米市	<ul style="list-style-type: none"> ・登米市役所において復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示。
南三陸町	<ul style="list-style-type: none"> ・さんさん商店街において復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示。 ・町広報誌にて整備状況を周知。
東松島市	<ul style="list-style-type: none"> ・市の総合防災訓練において矢本石巻道路の避難階段を利用した訓練を実施。
利府町	<ul style="list-style-type: none"> ・町広報誌において、復興特集を定期的に掲載。 ・町の行事等において、復興道路等の工事進捗を知らせるパネルを展示。
仙台市	<ul style="list-style-type: none"> ・東部道路の避難階段を使った津波訓練を実施。
多賀城市	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報誌において三陸自動車道多賀城インターチェンジ開通式の様子を掲載。
女川町	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年11月号町広報誌において、石巻女川IC開通式について掲載。
松島町	<ul style="list-style-type: none"> ・石田沢防災センターに復興情報コーナーを設置

【事例1】病院のイベントで復興パネルを展示（石巻市）



【事例2】広報誌で進捗情報を発信（気仙沼市）

✓ 平成28年の復旧・復興事業の進捗をお知らせします 交通網

市では、震災以降、市民の皆さまのご協力をいただきながら、復旧・復興事業に取り組んでいます。昨年は、各事業が目に見える形となり、平成29年には防災集団移転団地、災害公営住宅がすべて完成するなど、「復興」が実感できる段階となりました。

本号では、新年にあたり、あらためて震災復興のリーディングプロジェクトなどの進捗よくと、今後の予定についてお伝えします。

住まい

災害公営住宅

全28地区（約2,100戸）の計画で整備を進め、平成26年度の南郷地区を皮切りに、順次入居が開始され、29年度までにすべての整備が完了する予定です。

28年12月までに26地区1,644戸が完成し、全体の進捗率は77%となりました。

■年度別完成戸数

- 平成26年度…2地区（185戸）
- 平成27年度…12地区（496戸）
- 平成28年度…19地区（1,273戸）予定
- 平成29年度…3地区（175戸）予定

※各年度の地区数については、地区で完成年度が複数に分かれる場合があることから、全体地区数の28地区と合致しません。



防災集団移転

全46団地（910区画）で造成工事に着手し、平成25年度から順次移転者へ引き渡し、29年度までにすべての整備が完了する予定です。

28年12月までに45団地の造成が完了し、進捗率は98.4%となりました。

■年度別完成団地数

- 平成25年度…1団地（6区画）
- 平成26年度…9団地（117区画）
- 平成27年度…32団地（733区画）
- 平成28年度…5団地（39区画）
- 平成29年度…1団地（15区画）予定

※団地数は、同団地で完成年度が複数に分かれる場合があることから、全体団地数の46団地と合致しません。



三陸沿岸道路

三陸沿岸道路は、仙台市から八戸市までを結ぶ、延長約359kmの自動車専用道路で、市内では10か所のインターチェンジ（以下「IC」）が設置される予定です。

平成28年10月には、仙台から志津川までが開通。今年度中には（仮称）南三陸海岸ICまでの開通が予定されており、本市までの早期開通が待たれるところです。

■平成28年の主な出来事

- ①（仮）本吉 IC - （仮）大谷 IC 間の開通予定時期が、平成30年度内と示される。
- ②（仮）気仙沼陸上 IC の設置が決定。
- ③（仮）歌津北 IC - （仮）仰名沢 IC 間の開通予定時期が、平成30年度内と示される。
- ④（仮）仰名沢 IC - （仮）本吉 IC 間の開通予定時期が、平成32年度内と示される。
- ⑤「三滝堂 IC - 志津川 IC」開通。

※地区内の期間がすべて開通予定年度です。
 ※●はハーフ IC、●はフル IC を表しており、以下のような出入りとなります。



開通時期未定区間には、（仮称）気仙沼湾横断橋（約1,344m）が建設予定です。完成すれば、東北地方最大の斜張橋となり、復興のシンボルとなることが期待されます。



大島架橋

本土と大島をつなぐ356mのアーチ橋。現在、朝日ふ頭でアーチ部分の組立工事が行われています。平成29年3月には、アーチ部分を大きなクレーン船で吊り上げて海上を運搬し、橋脚部分へ設置する架設工事が行われる予定です。

平成30年度の完成を予定しており、ついに龍島の大島が本土とつながり、大島との交通が便利になると期待されています。



○ 市町村別における「見える化」の取り組み 【福島県】

福島市	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市ホームページで復興道路を紹介 ・市役所展望ロビー等2箇所において、復興支援道路の事業概要・工事進捗をお知らせするパネルを設置
相馬市	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報誌「広報そうま」に事業進捗状況等を掲載(H28継続) ・市役所ロビーにおいて復興道路工事の進捗状況を掲載(H28継続) ・市役所ロビーにおいて、開通に向けた民間事業者等の期待のメッセージ(ビデオレター)を放映 【事例1】
南相馬市	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所ロビーにおいて復興道路工事の進捗状況を掲載(H28継続)
伊達市	<ul style="list-style-type: none"> ・伊達市ホームページや広報誌「だて市政だより」による事業概要・工事進捗等の情報提供【事例2】 ・市役所及び支所等5箇所において、復興支援道路の事業概要・工事進捗をお知らせするパネルを設置 ・市内各小・中学校22校に工事状況ポスターを掲示
桑折町	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「広報こおり」に復興道路の記事を掲載。 ・桑折町役場・睦合公民館において、復興道路の事業概要・工事進捗の状況を周知するパネルを設置 ・桑折町ホームページのトップに復興道路・事業促進PPPのバナーを設定し紹介
国見町	<ul style="list-style-type: none"> ・国見町ホームページに復興道路紹介ホームページをリンク
新地町	<ul style="list-style-type: none"> ・町役場ロビーにおいて復興道路工事の進捗状況を掲載(H28継続)

【事例1】市役所ロビー、廊下等で期待と進捗状況等を紹介（相馬市）



【事例2】広報誌に復興道路の記事を掲載（伊達市）

平成28年5月号

3/12 (土) 全てのトンネルで貫通 腰巡トンネル貫通式
霊山町石田地区 ceremony

国道115号相馬福島道路の霊山道路区間で工事が進められている（仮称）腰巡トンネルにおいて、貫通式が行われました。式は、霊山太鼓保存会による演奏も添えられ、トンネルの貫通を大いに祝いました。霊山道路区間において、7本のトンネルを計画していますが、このトンネルの貫通により全てのトンネルが貫通しました。



平成28年8月号

福島河川国道事務所からのお願い

ご理解とご協力をお願いします

相馬福島道路の早期開通に向け工事を急ピッチで進めているため、当面の間、市内の工事用車両の通行量が増加しております。交通安全に細心の注意を払いながら通行しますので、ご理解とご協力をお願いします。



福島河川国道事務所 工事関係車両 〇-〇-〇〇〇 当工事専用の工事識別ステッカーをダンプトラックの前後に表示して走行します。

福島河川国道事務所信夫山国道出張所 ☎ 555-6554
高速道路推進室 ☎ 577-3184

平成28年10月号

9/4 (日) 高速道路開通前限定 トンネルウォーキング
庄司測トンネルほか event

復興支援道路である相馬福島道路のうち、庄司測トンネル～熊屋敷橋～腰巡トンネル（全長1,885m）でトンネルウォーキングが開催されました。総勢175人が参加し、トンネル掘削の工程について学び、歩きながらトンネルの中の空気を味わいました。相馬福島道路の開通後は徒歩での通行は出来ないため、貴重な体験となりました。



平成28年12月号

10/27 (木) 霊山道路の開通へ向け 月館高架橋連結式
月館町御代田地区 ceremony

福島と相馬を結ぶ相馬福島道路の区間で最も長い橋梁である月館高架橋で連結式が行われました。福島河川国道事務所や霊山道路地権者会など関係者53人が参列。仁志田昇司市長のほか月館小学校児童らが橋梁の一部にコンクリート注ぎ完成を祝いました。式の後には、月館小学校児童68人により、橋梁にイラストが描かれました。



平成29年度『復興道路会議～宮城県～』

復興道路の活用・整備効果について

平成29年6月20日

宮城県土木部



＜目次＞

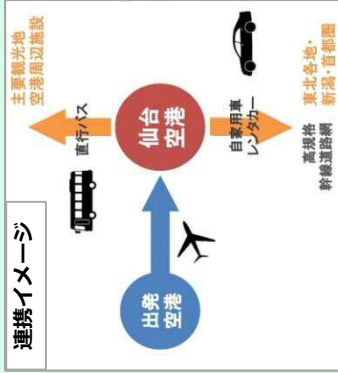
1. 高規格道路の観光振興への活用
2. 観光振興における三陸沿岸道路の効果
3. 物流における整備効果
4. 地域振興へのIC設置の効果
5. 復興道路等の沿線で進む企業立地
6. 経済波及効果の推計について

① 高規格道路の観光振興への活用

平成28年3月30日の「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議（議長：内閣総理大臣）」においては、「**観光先進国**」の実現に向けた取組みの一つとして、『**高速道路などの高速交通網を活用した「地方創生回廊」**を完備し、**全国どこへでも快適な旅行を実現**』することとしている。

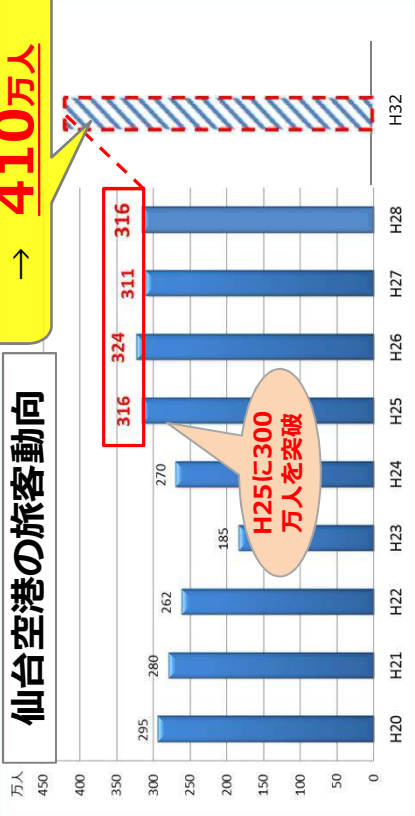
本県では、平成28年7月1日に国管理空港として全国初となる**仙台空港の民営化**が実現し、**路線の拡充や増便などにより、利便性が向上**。

これを契機に、空港を運営する仙台国際空港株式会社と連携し、官民一体となった**東北の広域観光推進等に取り組み**ることにより、**広く東北全体に経済効果を波及**させていく。



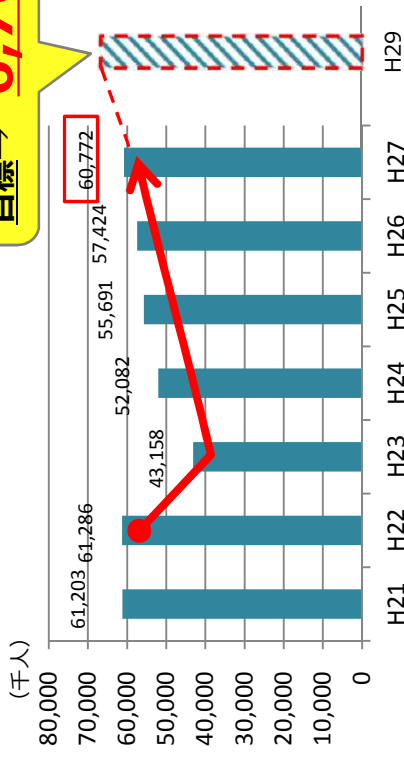
平成32年の旅客数目標
→ **410万人**

仙台空港の旅客動向



仙台空港の乗降客数は、**4年連続300万人を突破**し、平成28年は**316万人**を記録

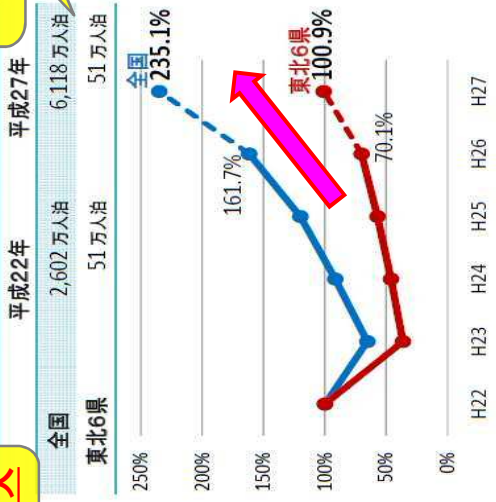
宮城県への観光客入込数



宮城県への観光客入込数は、H26比で**335万人**増で、震災前(H22)の**99.2%まで回復**

平成32年の東北の外国人
宿泊者数目標 → **150万人**

外国人宿泊者数の推移

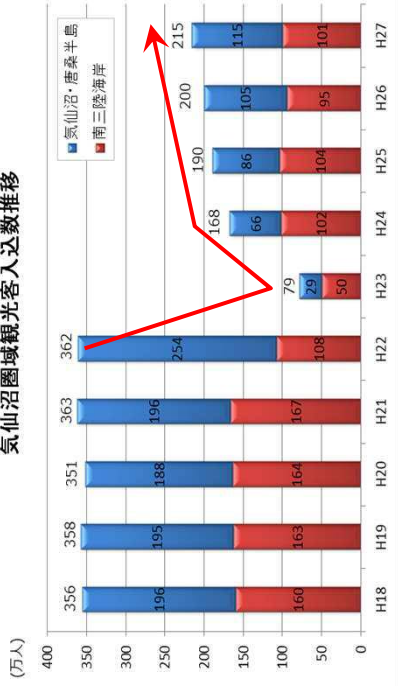


観光客入込数・旅客数・外国人宿泊者数の目標達成に向けて、空港民営化によって利便性向上を図るとともに、三陸沿岸道の延伸効果をも十分に活用しながら広域的な観光推進に取り組む

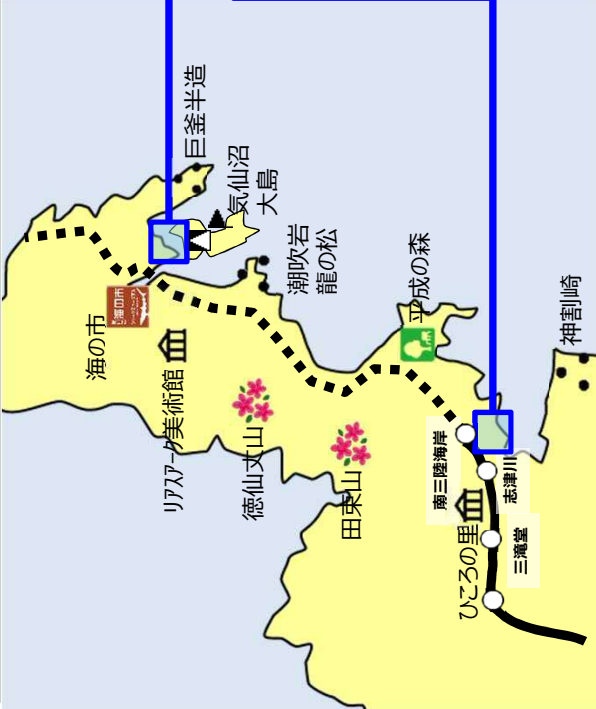
出典：東北観光アドバイザー会議資料 (復興庁)(H28年4月15日)

② 観光振興における三陸沿岸道路の効果

気仙沼圏域観光客入込数推移



○ 気仙沼圏域の観光客入込数は震災の影響により、平成23年度は**79万人**(H22の約2割)まで減小。
 ○ 平成27年度の観光客入込数は**215万人**まで回復(震災直後(H23)の約2.7倍)しているものの、観光復興には、さらなる向上が必要。



気仙沼市

・三陸沿岸道路にアクセスする県道大島浪板線の**気仙沼大島大橋**がH29.3に架設完了。架設後のGWには、**過去最多の観光客数を記録**。

・今後、気仙沼大島大橋と併せて、三陸沿岸道路の延伸、さらに、**気仙沼湾横断橋**が出来ることにより、**気仙沼地域の観光振興に更なる効果が期待される。**

大橋効果 24.8%増



気仙沼・大島 GW観光客過去最多

平成29年5月27日 河北新報朝刊

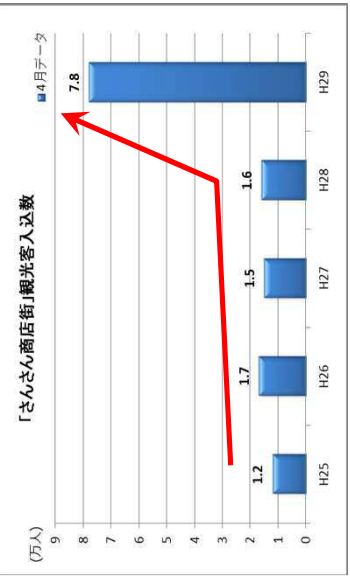
南三陸町



新しいにぎわい
6
平成29年

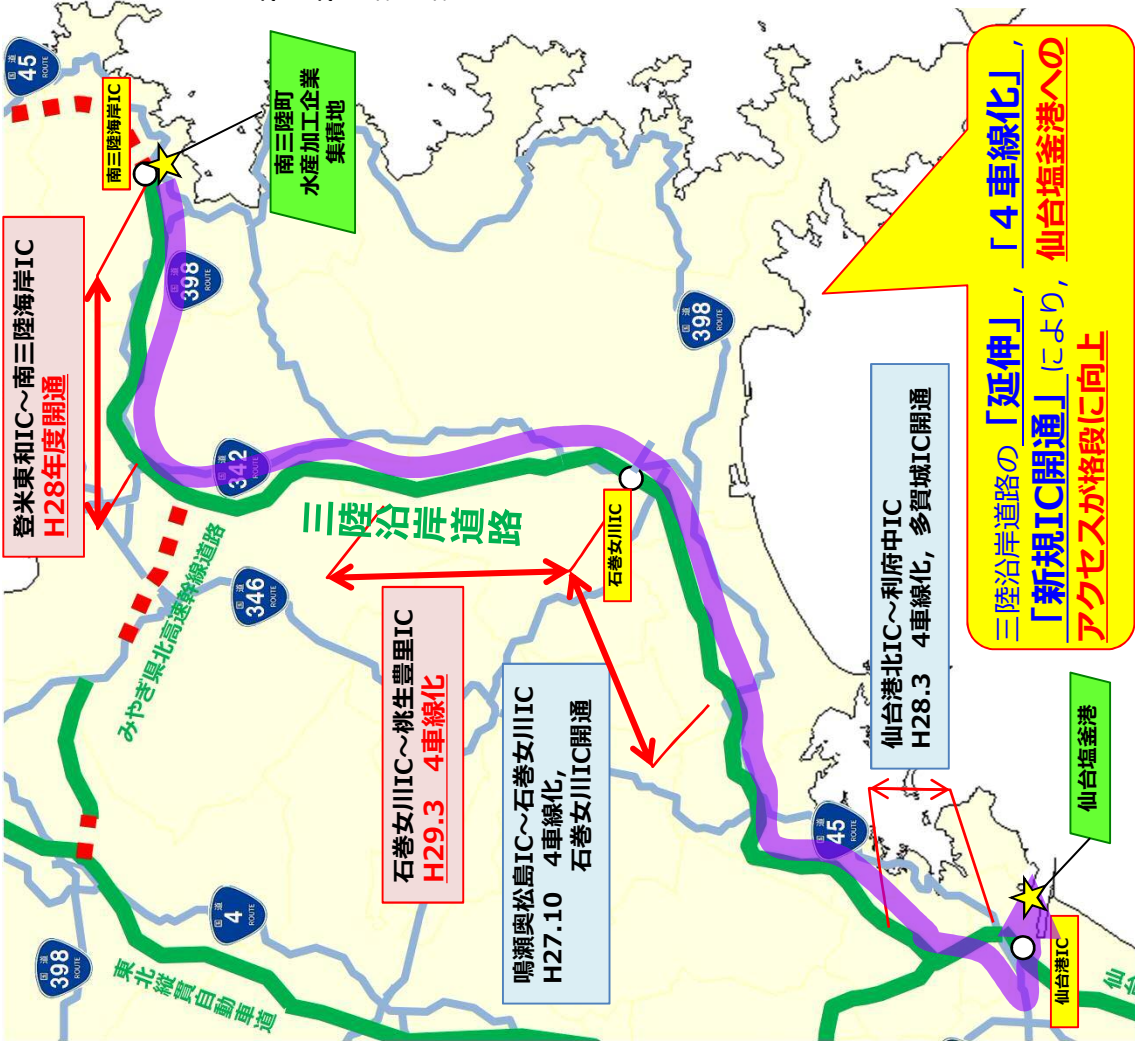
平成29年3月3日 河北新報夕刊

- ・平成29年3月に志津川中心部に「さんさん商店街」が新たにオープン。
- ・三陸道の志津川IC及び南三陸海岸ICより約2km(約3分)と好条件の立地場所。
- ・オープン後は三陸道志津川IC(H28.10)及び南三陸海岸IC(H29.3)の開通と相まって前年度の同時期(4月)に対して**約5倍となる7万8千人が来場**。



被災沿岸地域の観光復興には、**三陸沿岸道路の整備が重要**。さらに、**三陸沿岸道路を最大限活用しながら、豊富な観光資源を生かした観光振興を図っていく**。

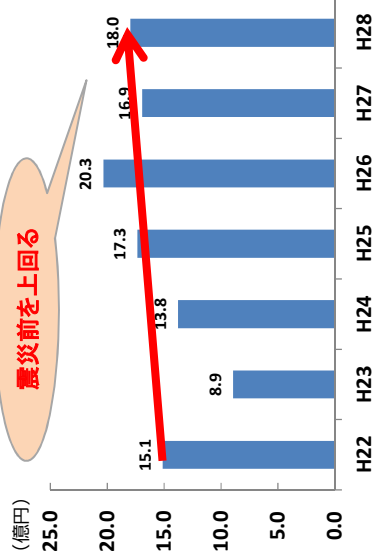
③ 物流における整備効果



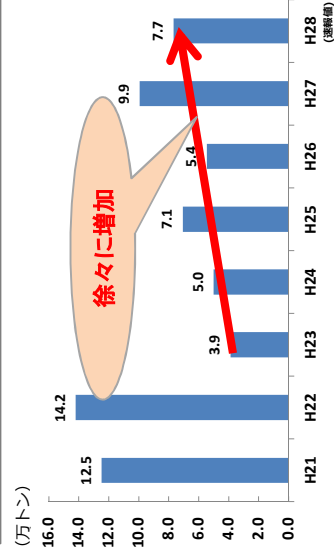
三陸沿岸道路の開通により地域の基幹産業である水産業を支援

宮城県南三陸町

南三陸市場の水揚げは、**震災前を上回る水準まで回復**。また、水産加工企業集積地は南三陸海岸ICに直結して立地しているため、**物流の効率化や、鮮度向上**に期待。



仙台塩釜港の水産品の取引量が増加



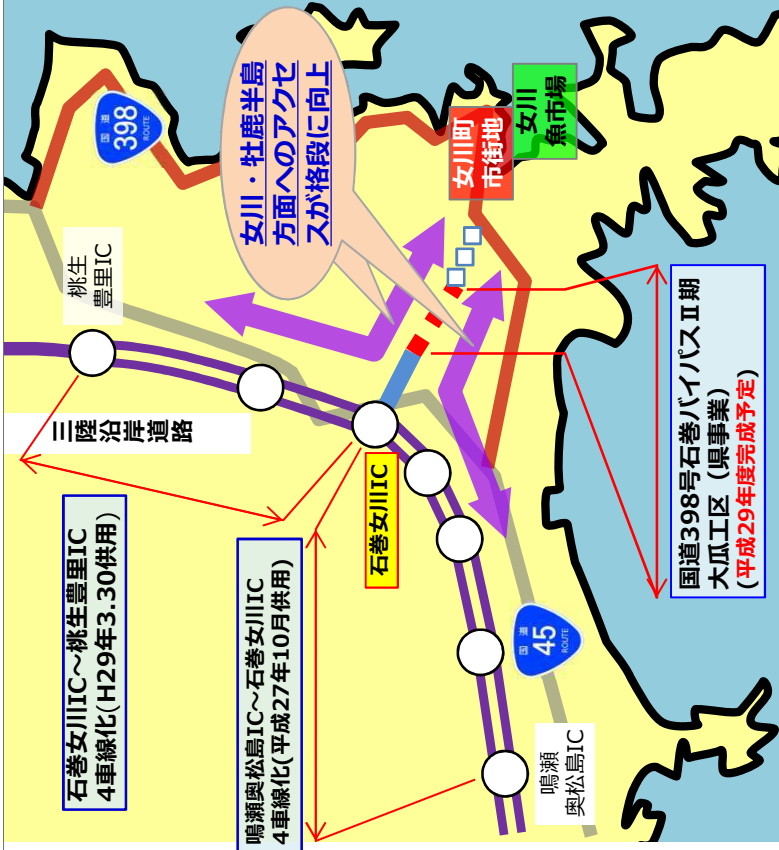
仙台塩釜港の水産品の取引量は震災後、徐々に増加し、H28は震災後（H23）の**約2倍まで増加**。三陸道の延伸により**取引量の更なる増加**が期待。

三陸沿岸道路の開通は、沿線地域の基幹産業である水産業の復興に大きく寄与。



④ 地域振興への I C 設置の効果

石巻女川 I C 設置の効果



おながわ復興まちひらき開催時の女川駅前プロムナードの様子

H29ゴールデンウィーク期間中の来町者が7万7000人を上回り、前年度の約3倍を記録

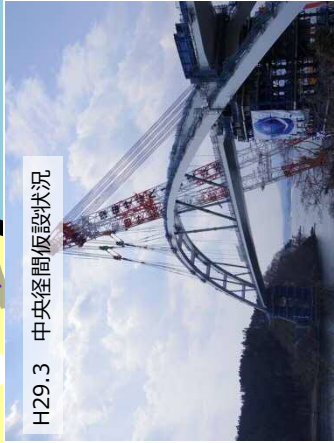
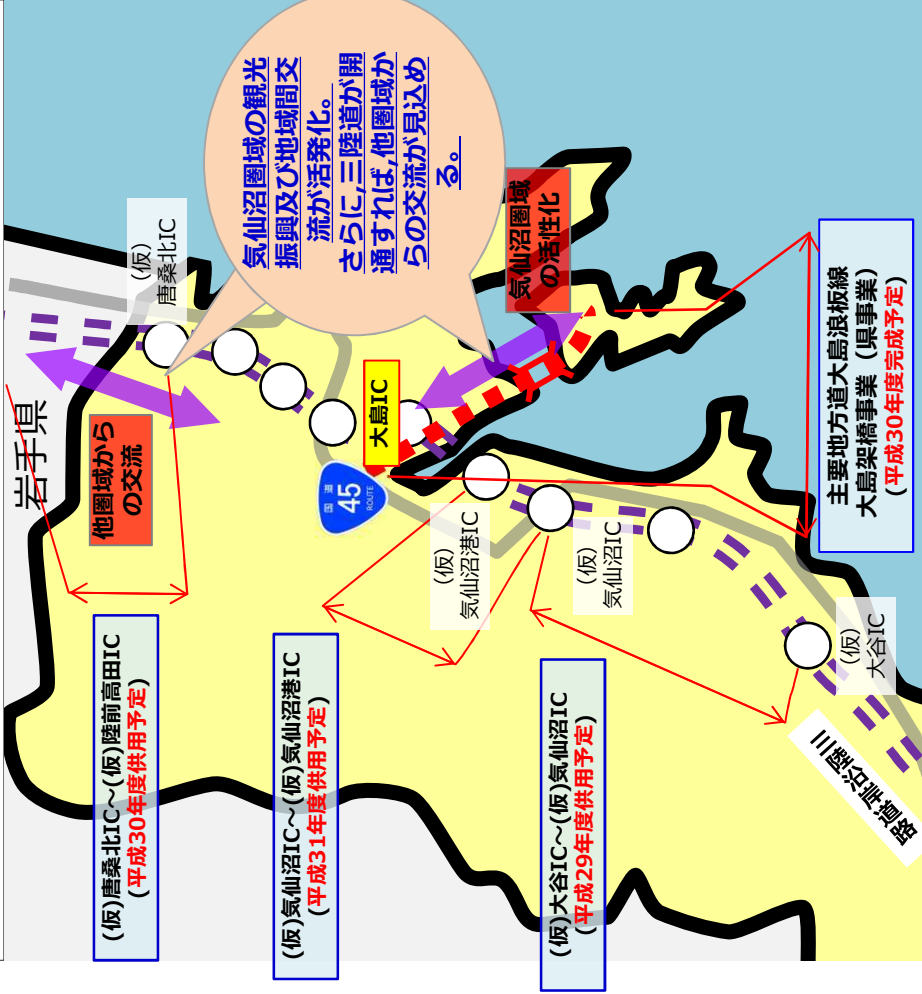


女川漁港のサンマ水揚げ

H28のさんまの水揚げは数量、金額共に本州2位の実績を誇る。(H28実績：13,785トン、約25億円)

石巻女川 I C の開通及び前後区間の4車線化に加え、石巻バイパス II 期の開通により、石巻圏域の水産業や観光振興にさらに大きな波及効果が期待できる

(仮) 大島 I C 設置の効果



H29.3 中央径間仮設状況

「三陸道の開通」及び「大島架橋事業の完成」が気仙沼圏域の観光振興・産業活性化の起爆剤に

南三陸町の魅力発信

推進協道の駅整備で基本構想

東日本大震災被災地復興の中心地として、南三陸町の魅力発信が加速している。推進協道の駅整備が、町の魅力を発信する重要な役割を果たしている。道の駅整備は、町の魅力を発信する重要な役割を果たしている。道の駅整備は、町の魅力を発信する重要な役割を果たしている。

平成29年1月14日
河北新報朝刊

★道の駅南三陸（構想）
オープン予定 H31年度
※南三陸開海岸ICから約2km、車で約3分

57社 水揚げ受け入れ整備

気仙沼・水産加工業集積地
平成29年3月13日河北新報朝刊

市内の水産加工施設集積地2地区において、分譲予定の77社のうち57社（7割）が本格的に再建。

気仙沼・内湾活気再び

18年4月新商業施設開業へ
平成28年9月9日河北新報朝刊

★商業テナント集積地（約30店舗）
事業費 12億円
開業予定 H30.4
※(仮)気仙沼北ICから約2km、車で約4分

住宅用建材開発のイノアック 栗原に工場新設へ

栗原市
平成28年12月15日河北新報朝刊

★住宅用建材企業立地
築館インター工業団地 売売

登米市

★道の駅三滝堂
オープン開始 H29.4
※三滝沿岸道路「三滝堂IC」に隣接して設置

★高度電子機械産業
投資額 19億円
操業開始 H29.4
※最寄りIC=登米IC

★登米東和IC～三滝堂IC (H28年4月開通)
石巻女川IC～桃生豊里IC (H29年3月4車線化)

★住宅用建材企業立地
築館インター工業団地 売売

★道の駅南三陸 (構想)
オープン予定 H31年度
※南三陸開海岸ICから約2km、車で約3分

★商業テナント集積地 (約30店舗)
事業費 12億円
開業予定 H30.4
※(仮)気仙沼北ICから約2km、車で約4分

★住宅用建材開発のイノアック
栗原に工場新設へ
平成28年12月15日河北新報朝刊

★住宅用建材企業立地
築館インター工業団地 売売

★道の駅三滝堂
オープン開始 H29.4
※三滝沿岸道路「三滝堂IC」に隣接して設置

★高度電子機械産業
投資額 19億円
操業開始 H29.4
※最寄りIC=登米IC

★登米東和IC～三滝堂IC (H28年4月開通)
石巻女川IC～桃生豊里IC (H29年3月4車線化)

★道の駅南三陸 (構想)
オープン予定 H31年度
※南三陸開海岸ICから約2km、車で約3分

★商業テナント集積地 (約30店舗)
事業費 12億円
開業予定 H30.4
※(仮)気仙沼北ICから約2km、車で約4分

★住宅用建材開発のイノアック
栗原に工場新設へ
平成28年12月15日河北新報朝刊

★住宅用建材企業立地
築館インター工業団地 売売

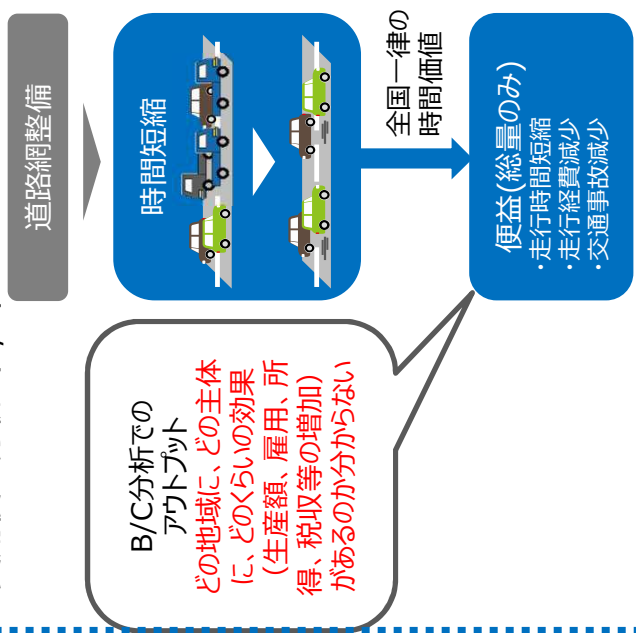
⑥経済波及効果の推計について

【背景・目的】

東日本大震災以降、宮城県沿岸部においては、三陸縦貫自動車道が全線事業化されるとともに、常磐自動車道も平成27年3月に全線供用され、高規格道路の整備が加速的に進められている。これらの高規格道路の整備効果については、費用便益分析による時間短縮効果に留まらず、県内又は全国的な経済効果を生み出すものと考えられることから、各地域に波及する多様な経済効果を推計するものである。

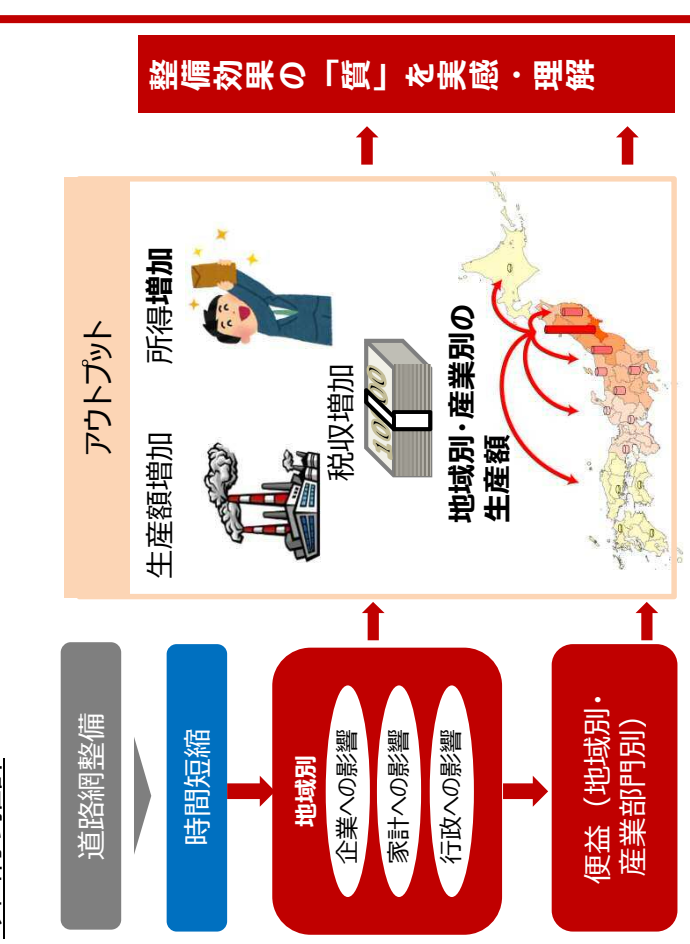
従来の推計

費用便益分析 (B/C)



- ① 地域別に経済効果を把握可能
- ② 産業別に経済効果を把握可能
- ③ 主体別（企業、家計、行政）に経済効果を把握可能
- ④ 生産額、所得、税収など多様な経済効果を把握可能

今回行う推計



期待される道路の整備効果

- 国内総生産(GDP)が増加
- 宮城県の総生産(GRP)が増加
- 沿岸部における水産業の生産額が増大
- 道路整備地域周辺の製造業(輸送機械等)の生産額が増大
- 沿岸部における観光業の生産額が増大
- 生産地から卸売市場への出荷時間が短縮され、生産機会が拡大、あるいは搬送時間の遅れによる損失額が削減
- トラックの輸送時間が短縮され、ドライバーの年間総労働時間が削減

概念図



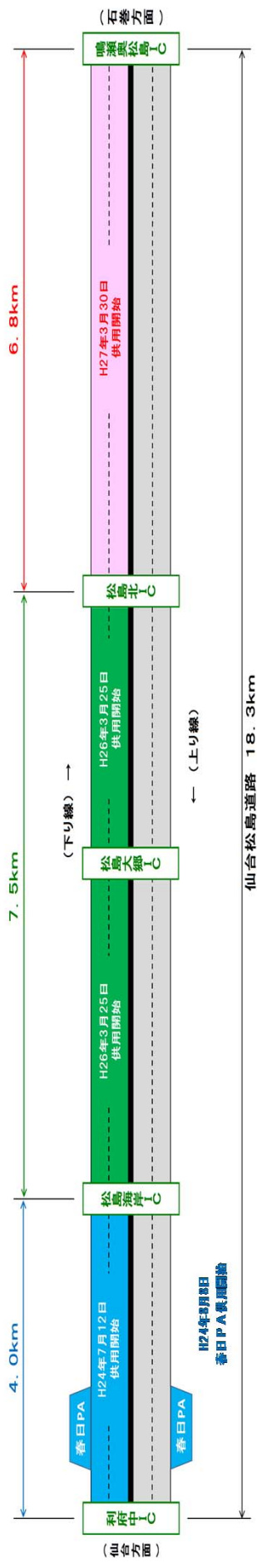
仙台松島道路の整備効果

1. 4車線供用前後の交通の状況
2. 春日PA(上り線)駐車場の拡張

1. 4車線供用前後の交通の状況

復興・創生
加速化実行年

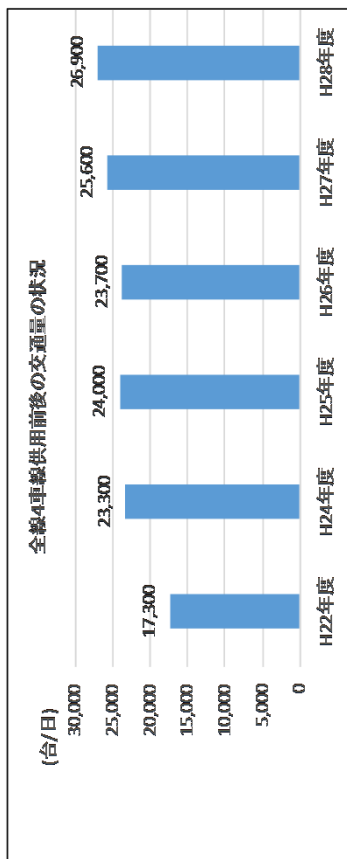
1. 仙台松島道路の4車線供用年次



2. 全線4車線供用前後の交通量の状況

	震災前		震災後			
	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
交通量	17,300	23,300	24,000	23,700	25,600	26,900
H22年度比		135%	139%	137%	148%	155%
前年度比			103%	99%	108%	105%

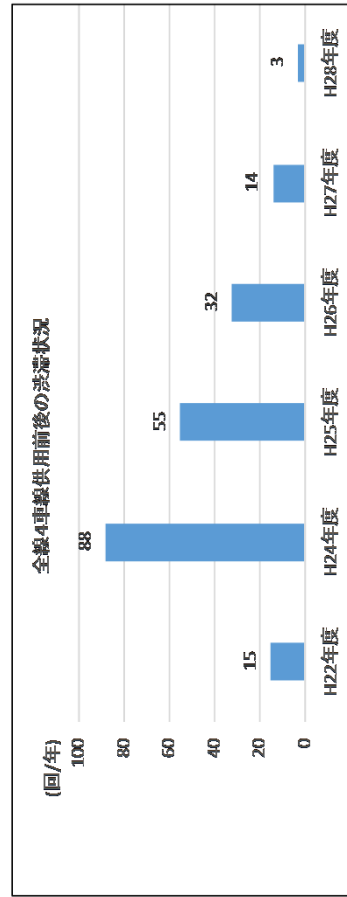
※1 鳴瀬奥松島本線料金所の出入り日平均交通量
 ※2 H23年度は、震災に伴う無料化に伴う異常値のため除外



○震災後のH24年度は3割以上の増加、さらに全線4車線化後は約5割の増加で推移。

3. 全線4車線供用前後の渋滞の状況

	震災前		震災後			
	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
回数	15	88	55	32	14	3
H22年度比		587%	367%	213%	93%	20%
前年度比			63%	58%	44%	21%



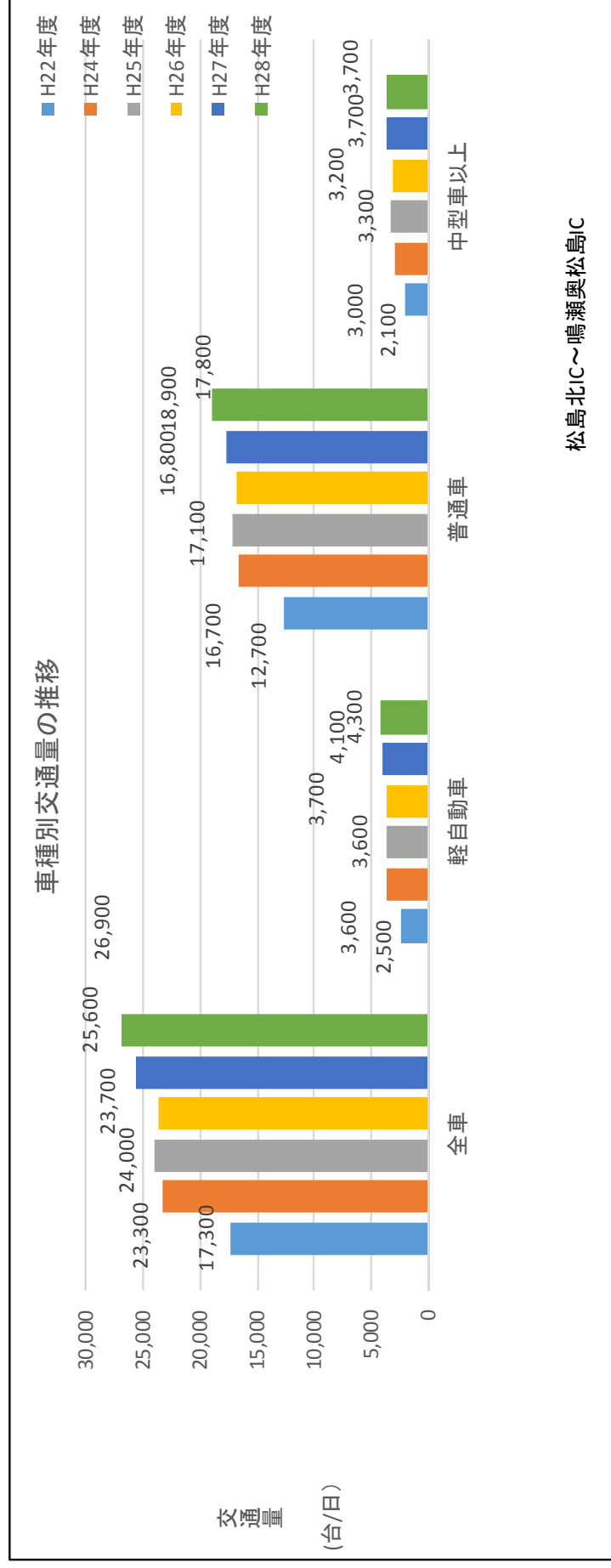
○4車線化区間の増加とともに渋滞回数は激減。

1. 4車線供用前後の交通の状況

2. 4車線供用前後の車種別交通量の推移

	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H27-H28 増減	前年比
全車	17,300	23,300	24,000	23,700	25,600	26,900	1,300	106%
軽自動車	2,500	3,600	3,600	3,700	4,100	4,300	200	105%
普通車	12,700	16,700	17,100	16,800	17,800	18,900	1,100	107%
中型車以上	2,100	3,000	3,300	3,200	3,700	3,700	0	100%

(台/日)



2. 春日PA（上り線）駐車場の拡張

復興・創生
加速化実行年

1. 目的

平成24年8月に供用した春日パーキングエリア上り線は、交通量の増加に伴うパーキング利用者が増加し、駐車場の混雑が顕著に発生していることから、混雑解消をはかり安心・快適に休憩していただける施設づくりを目指し、駐車場の拡張を行う。

2. 工事概要

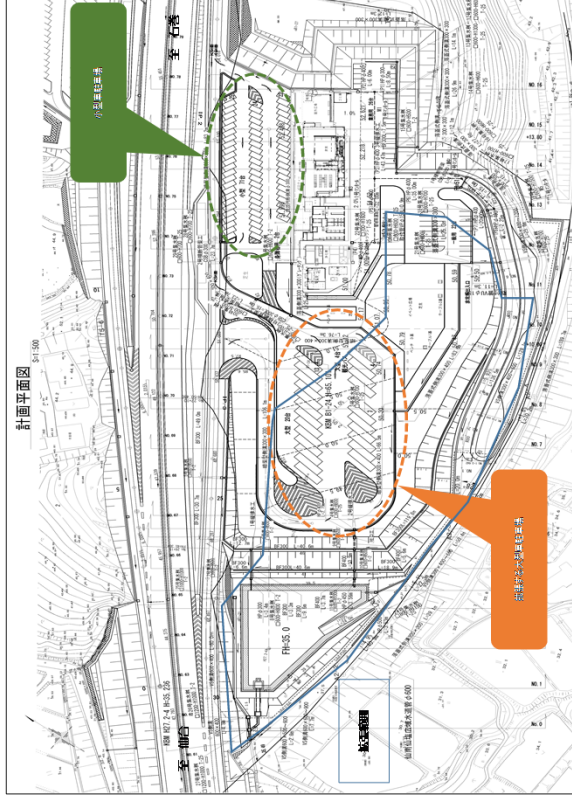
現施設	拡張後
施設面積	約2.2ha
駐車場	約3.7ha
小型車	66台
大型車	97台
	53台
	73台
	13台
	24台

※小型車1身障者2台含む

【工事内容】

切土：約104,000m³
 盛土：約15,000m³
 舗装工：約6,000m²
 付随施設工：防濶掘工、植栽工、交通安全施設工、園地工

4. 計画平面図



5. 現況写真



文化財発掘調査（H28年度）



3. 年次計画

- H27 設計調査、用地
- H28 伐採、文化財発掘調査
- H29 造成工事
- H30 造成工事、舗装工事

常磐自動車道4車線化事業等について

平成29年6月20日

東北支社

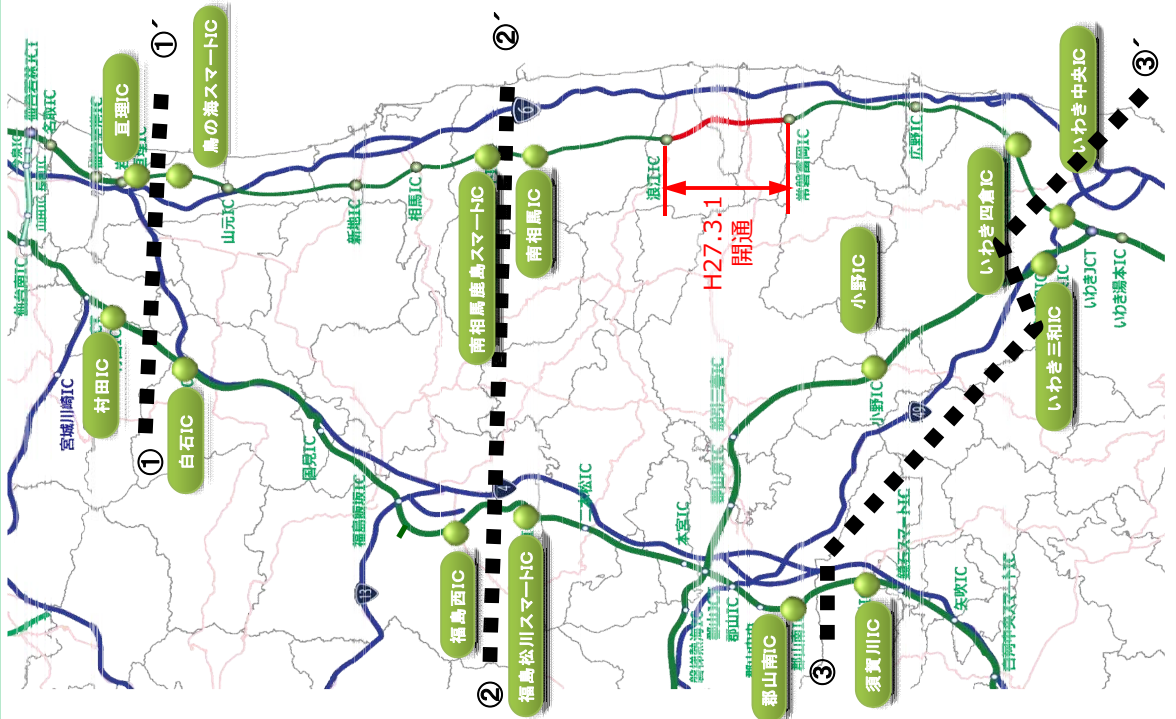


2. 常磐自動車道と国道6号の交通状況

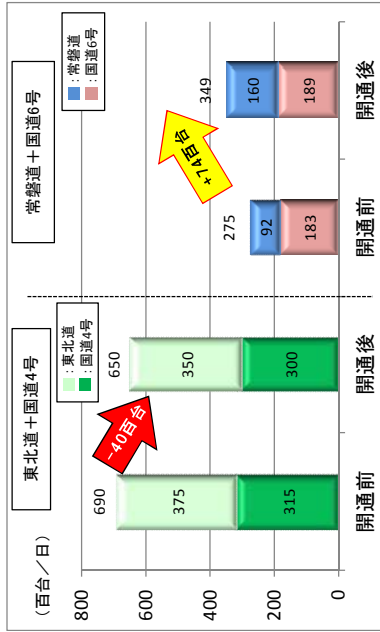


■内陸部（東北道+国道4号）の交通量が減少（約1～4千台）、沿岸部（常磐道+国道6号）の交通量が増加（約7～8千台）

■特に、内陸と沿岸部の高速ネットワークの交通量に大きな変化（東北道の交通量⇒約1～3千台減少、常磐道の交通量⇒約6～7千台増加）



①-①' 断面



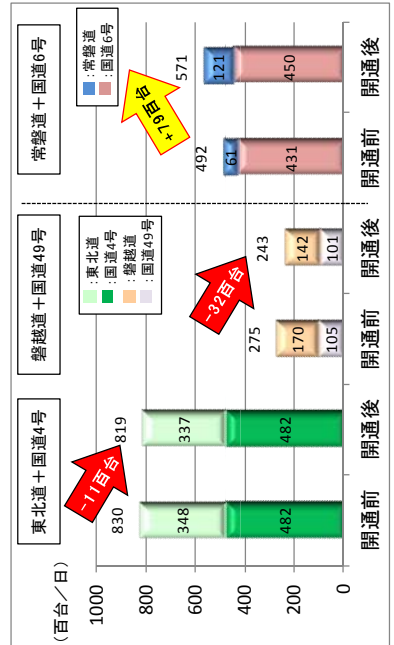
・東北道：村田IC～白石IC間
 ・常磐道：亶理IC～鳥の海スマートIC間

②-②' 断面



・東北道：福島西IC～福島松川スマートIC間
 ・常磐道：南相馬鹿島スマートIC～南相馬IC間

③-③' 断面



・東北道：郡山南IC～須賀川IC間
 ・磐越道：小野IC～いわき三和IC間
 ・常磐道：いわき四倉IC～いわき中央IC間

【出典：国土交通省東北地方整備局、

NEXCO東北一タ

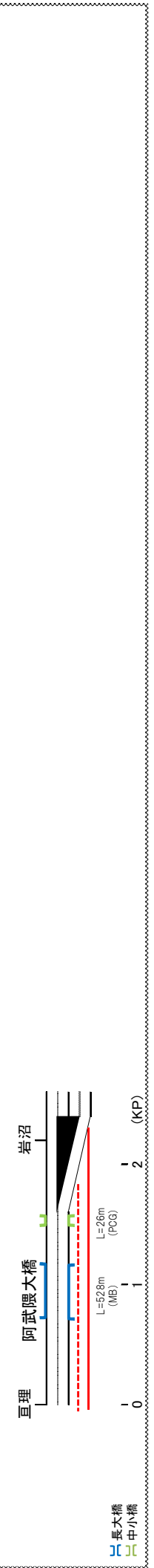
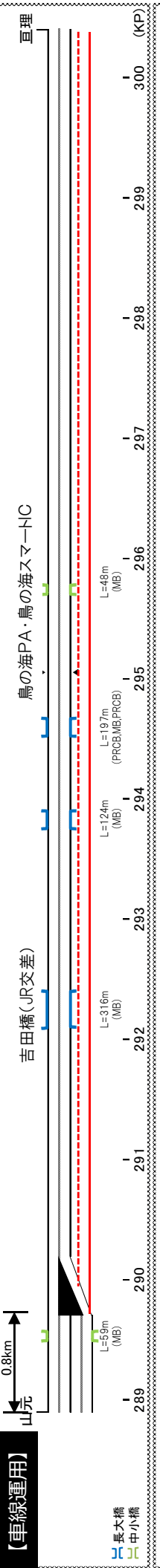
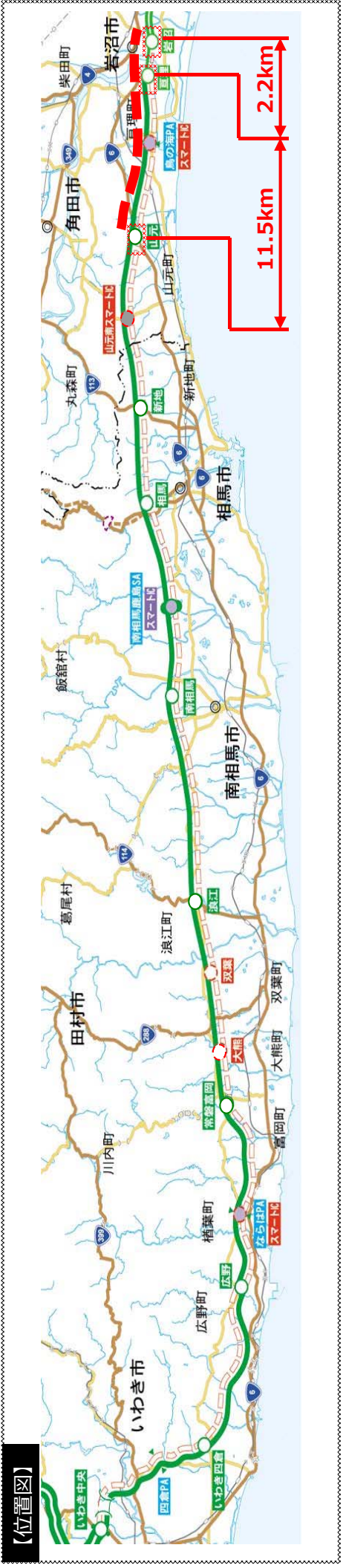
・開通前：平成26年3月1日(土)～

平成27年2月28日(土)の日平均値

・開通後：平成27年3月2日(月)～

平成28年9月1日(木)の日平均値

3. 常磐自動車道及び仙台台東部道路の4車線化事業概要①

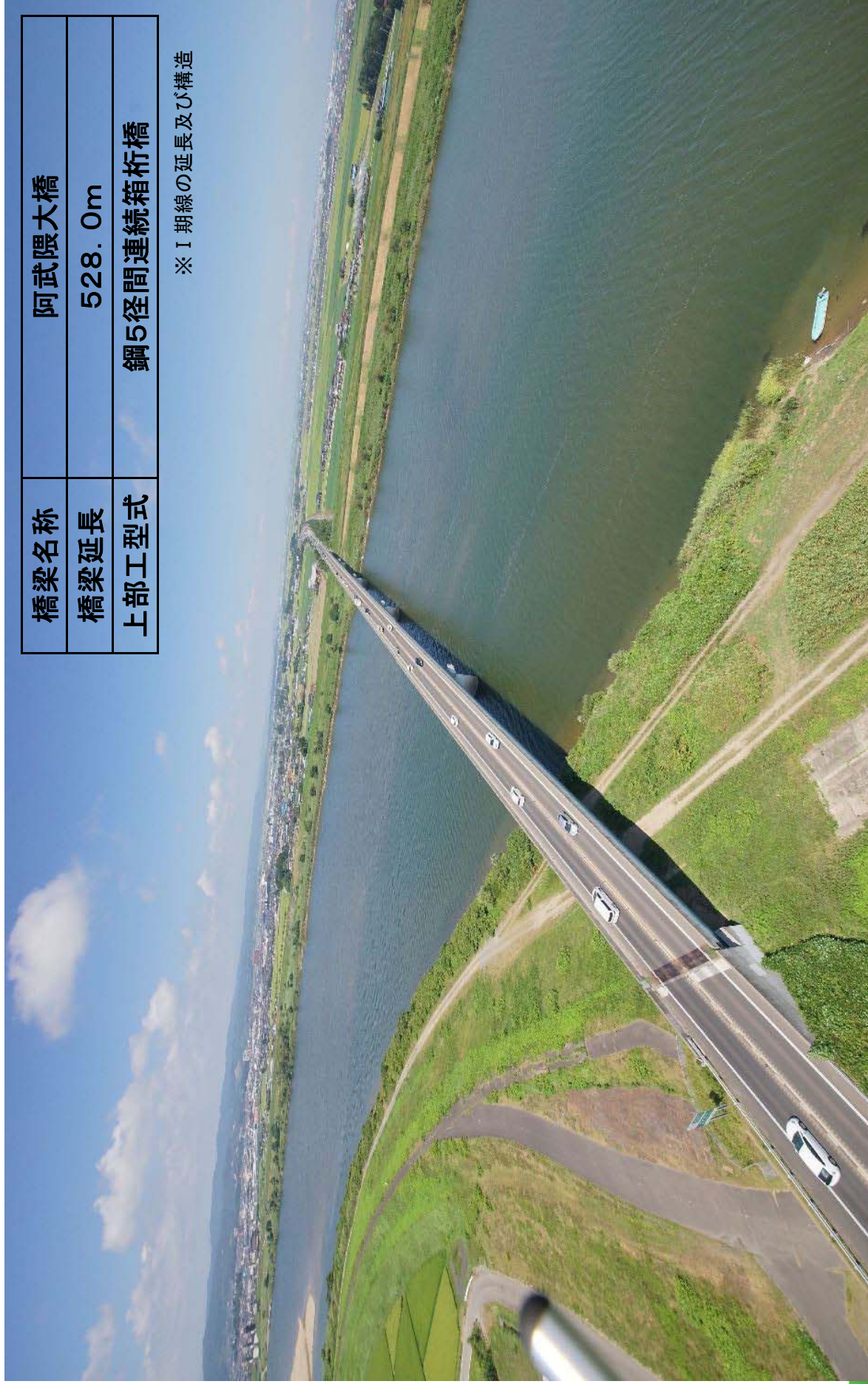


- 【4車線化施工数量】**
 - 土量：約60～70万m³
 - 橋梁：6橋（全体延長 約1,300m）
 - BOX：暫定施工 60基
- 【本線土工工事】**
 - 1件契約済、2件契約手続き中
- 【用地状況】**
 - 用地買収：I期線の際に買収済み
 - 埋蔵文化財：I期線の際に調査実施済み
- 【工事用進入路】**
 - 工事用道路（借地）のための畦畔設置済
- 【詳細設計の状況】**
 - 道路詳細設計、橋梁詳細設計 実施中
- 【主な協議状況】**
 - 一級河川や鉄道交差の協議中（阿武隈大橋、吉田橋）



4. 常磐自動車道及び仙台東部道路の4車線化事業概要②

NEXCO

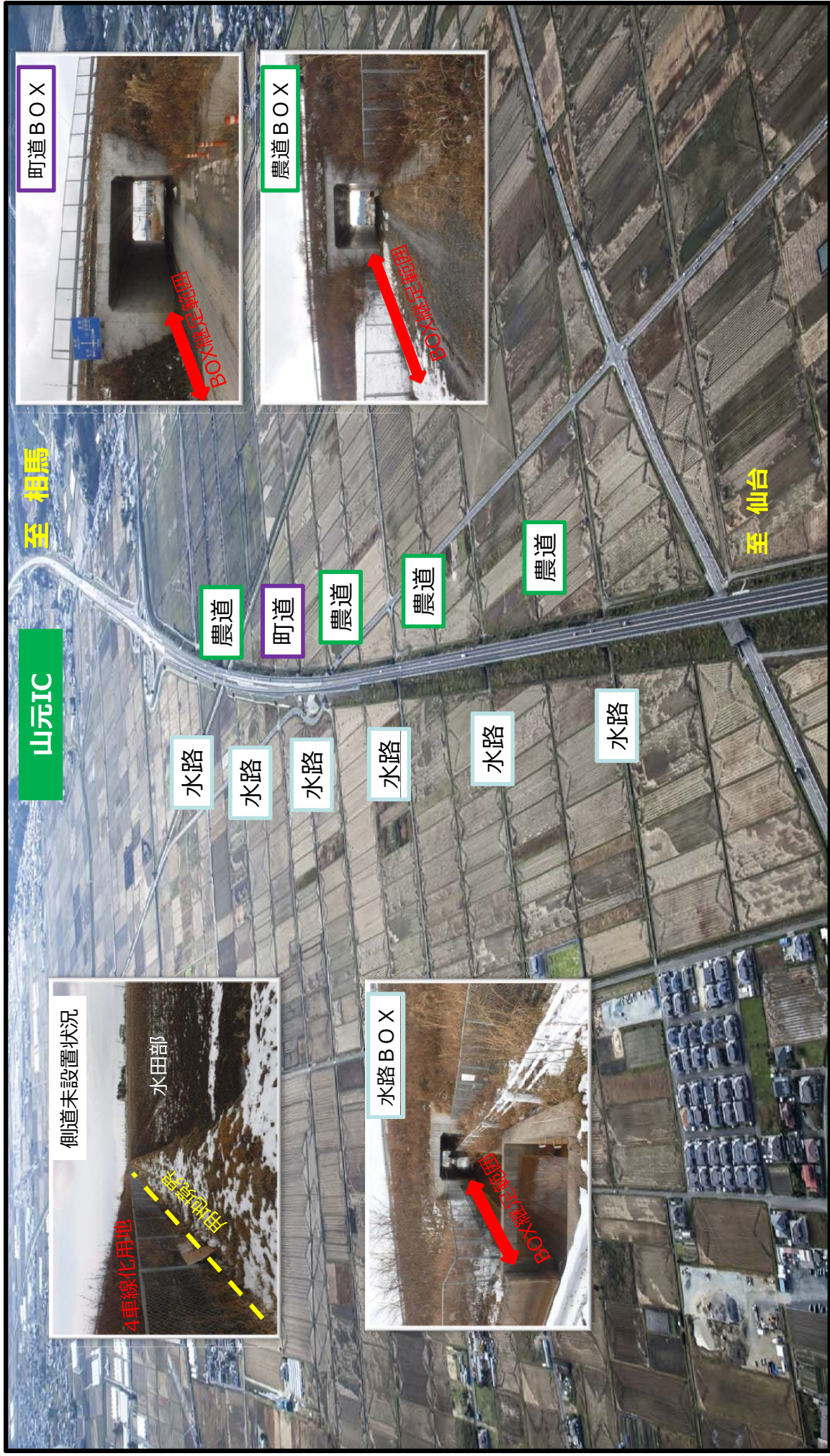


橋梁名称	阿武隈大橋
橋梁延長	528.0m
上部工型式	鋼5径間連続箱桁橋

※ I 期線の延長及び構造

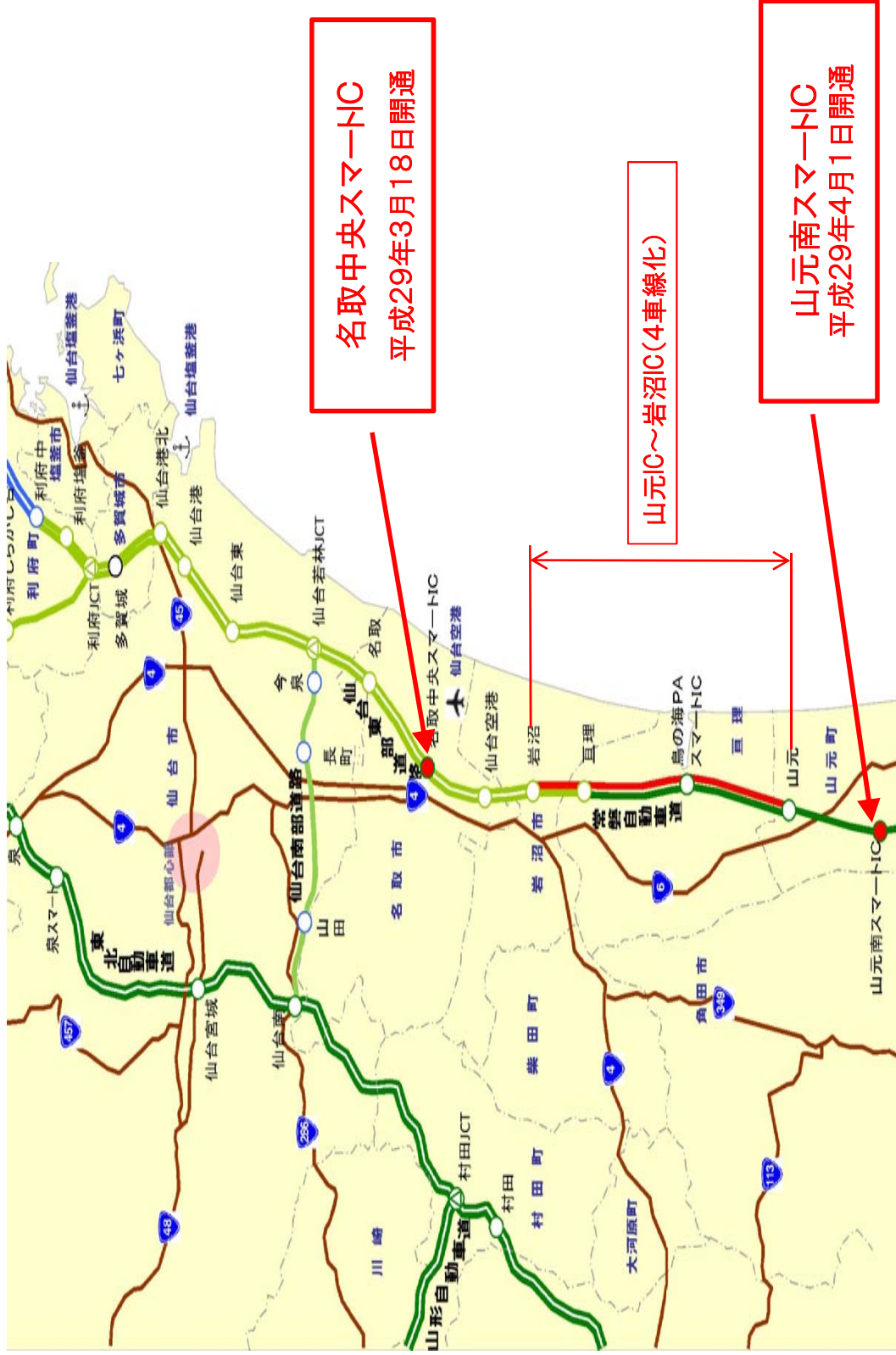
5. 常磐自動車道及び仙台東部道路の4車線化事業概要③

NEXCO



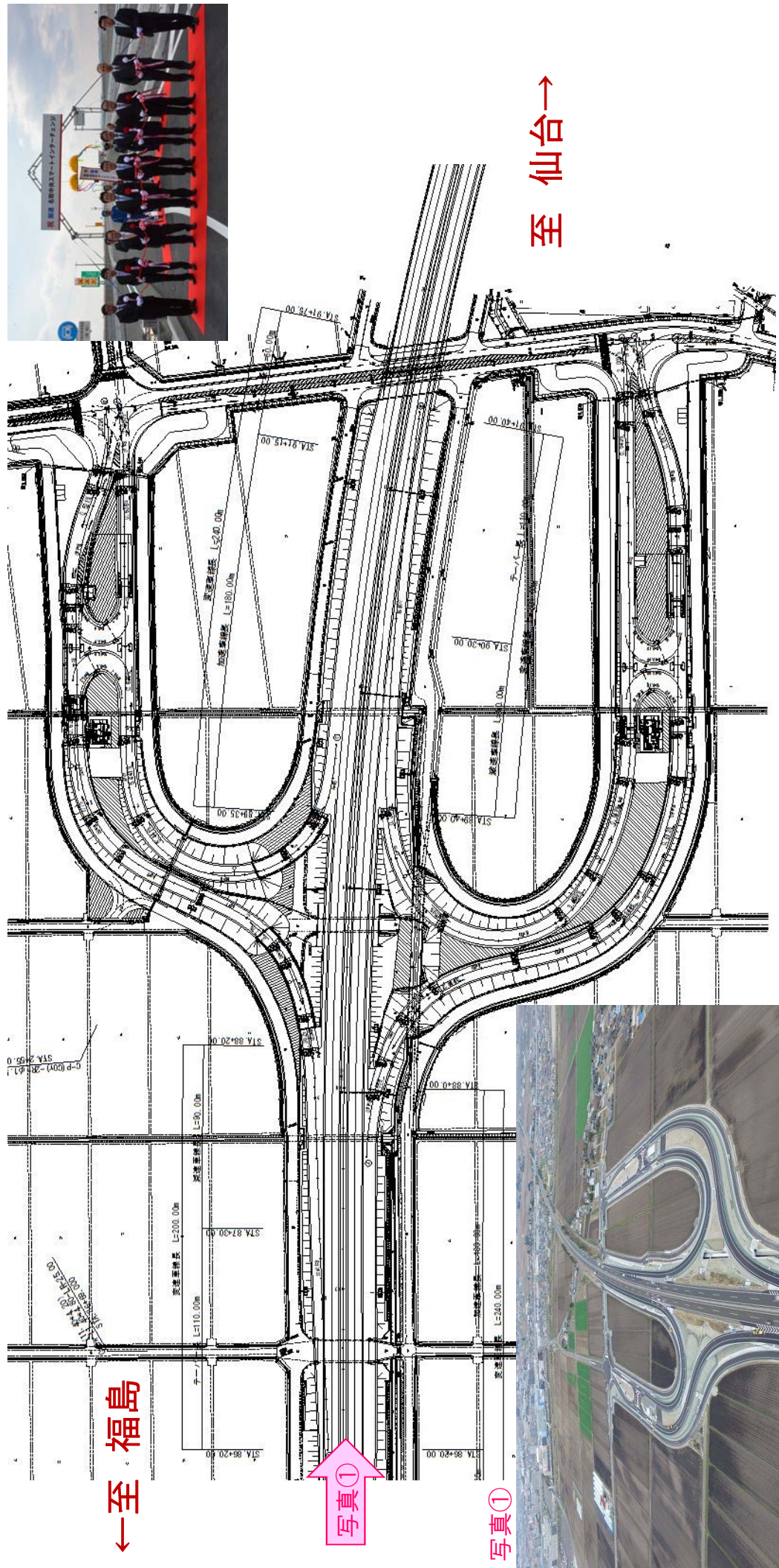
6. 直近のスマートIC完成箇所位置図

NEXCO



7. 仙台東部道路 名取中央スマートIC完成 (平成29年3月18日開通)

NEXCO



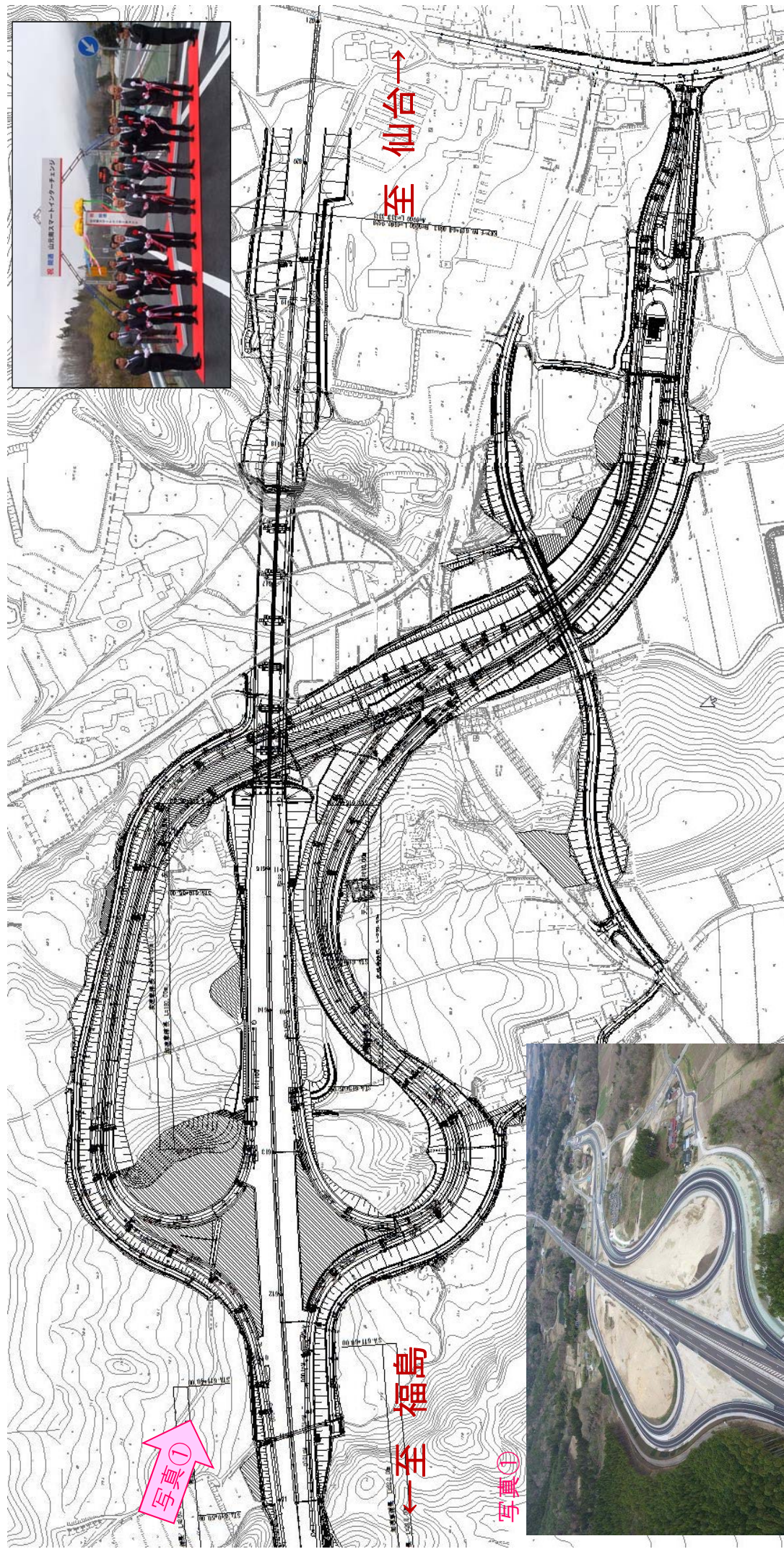
(仙台東部道路(仙台空港IC～名取IC間))



8. 常磐自動車道 山元南スマートIC完成

(平成29年4月1日開通)

NEXCO



(常磐自動車道(新地IC～山元IC間))



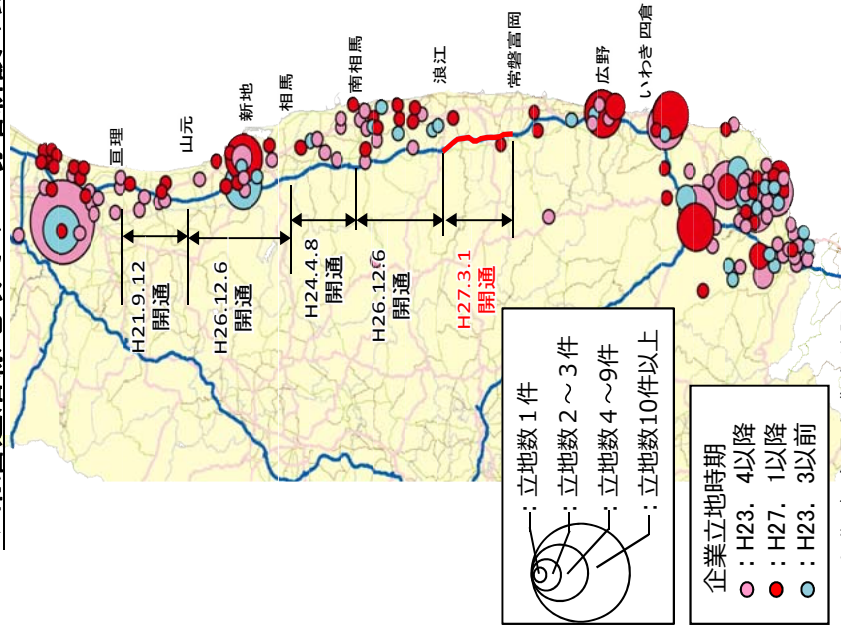
写真①

(参考1) 常磐自動車道開通後の整備効果①

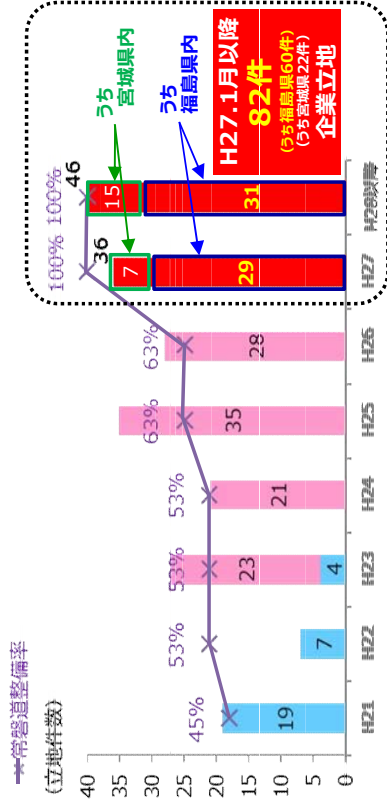
H28.12.20発表資料より抜粋

- 現時点で、福島県及び宮城県南部沿岸地域の企業立地数は、最高記録を更新中
- 平成27年1月以降の企業立地投資額による経済波及効果は約1,940億円
- 福島県浜通り地域では、平成27年1月以降の企業立地により約1,500名の新規雇用発生の見込み
- 浜通り地域の企業立地が地域経済の復興を牽引

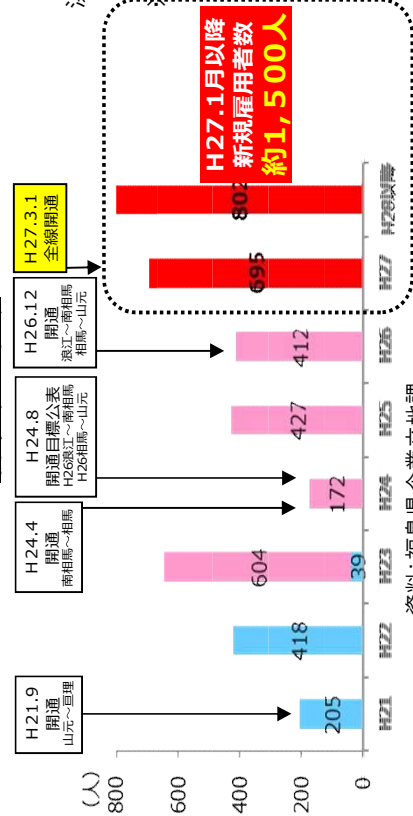
▼常磐道沿線地域での工場増新設の動き



▼常磐道沿線地域の工場増新設件数の推移



▼福島県浜通り地域における工場増新設に伴う新規雇用者数



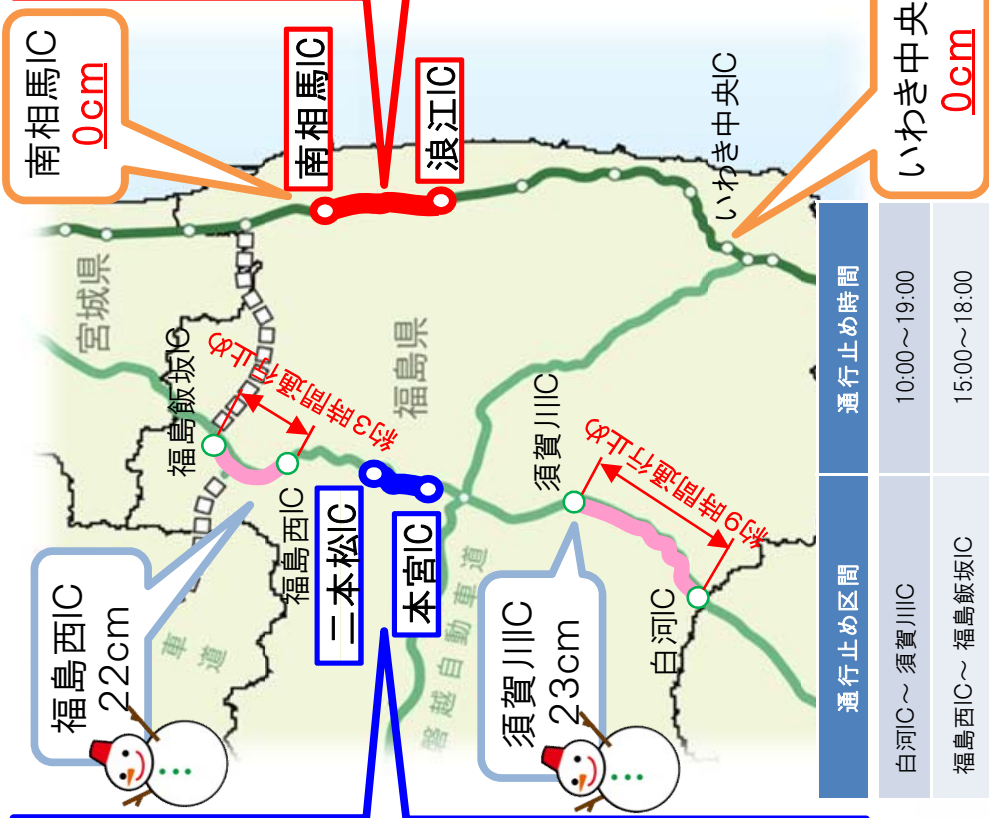
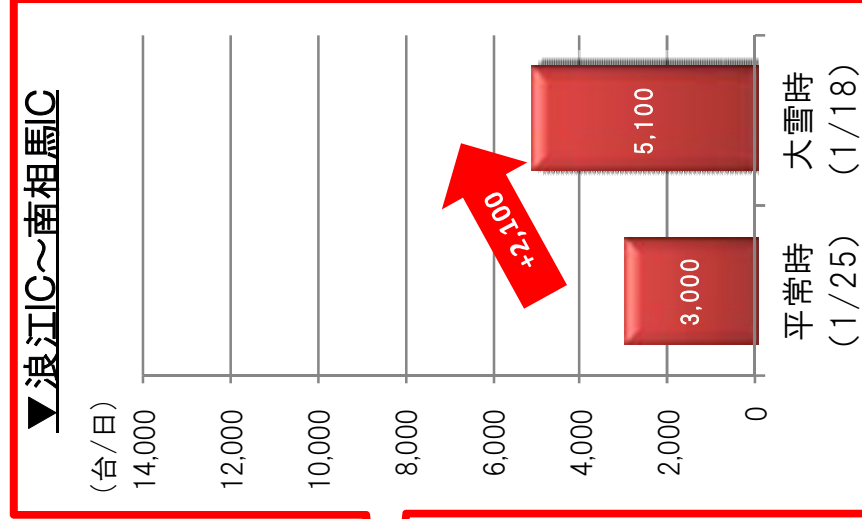
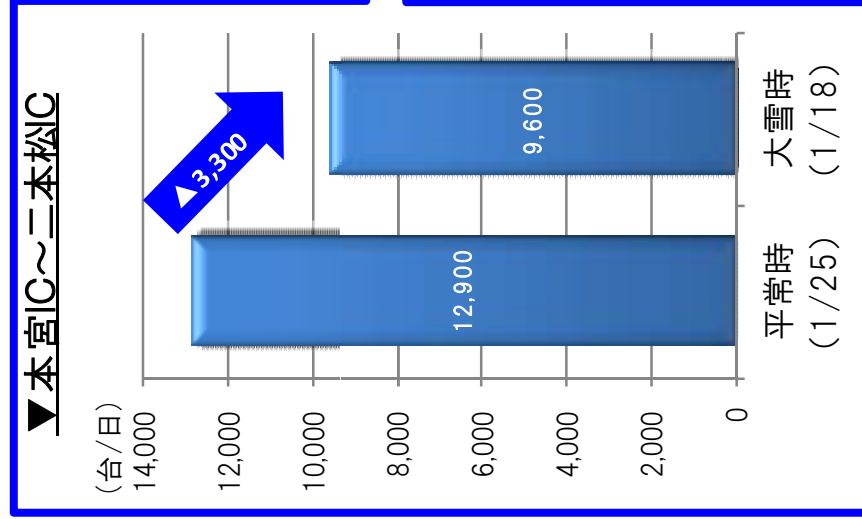
資料：福島県企業立地課

(参考2) 常磐自動車道開通後の整備効果②

H28.12.20発表資料より抜粋

- 福島県浜通り地方は降雪が少なく、安定した気象状況
- H28.1.18大雪による東北道通行止め時、常磐道の大型車交通量が平常時に比べ約2,100台増加し、代替機能を発揮

▼平成28年1月18日の大雪時の大型車交通動向



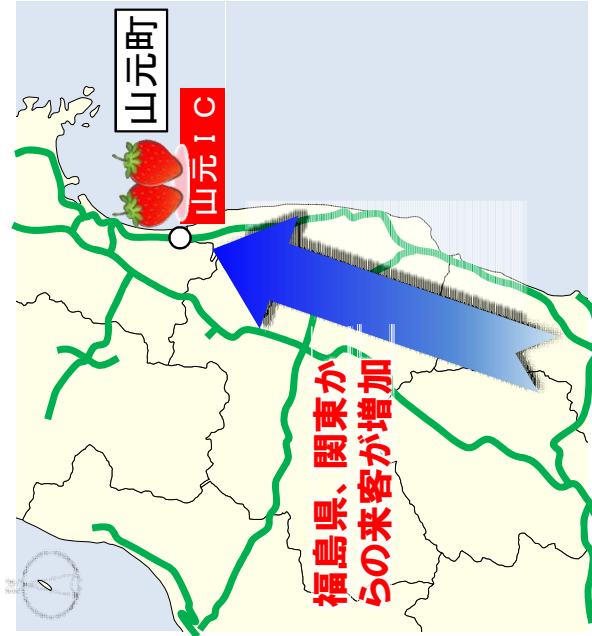
【出典】交通量: NEXCO 東日本データ
各ICの数値: H28.1.18の
累計積雪深 (NEXCO 東日本調べ)

(参考3) 常磐自動車道開通後の整備効果③

H28.12.20発表資料より抜粋

- 山元いちご農園は、震災後の平成24年3月にオープン
- 常磐道の全線開通以降の「いちご狩りシーズン」には、来訪者が約2.2倍に増加し震災後最高の入れ込み密度を記録
- 好調を受け、震災で失った山元ワインを5年ぶりに復活させ、地域の経済活性化に取り組む

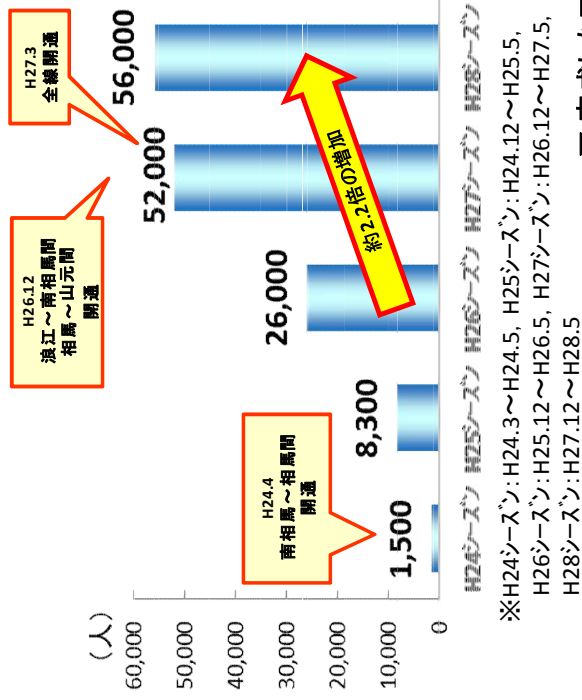
▼ 山元いちご農園



福島県、関東からの来客が増加



▼ 山元いちご農園のいちご狩り来客者数



▼ 完成したワイン工場



▼ 山元ICにおける福島県・関東の常磐道沿線からの利用割合



建屋は平成28年8月に完成し、11月から稼働

撮影: 仙台河川国道事務所

三陸沿岸道路の整備効果 ～観光交流の振興・地域活性化～

- ・南三陸町へのアクセス性が向上し、町内の観光交流の振興、地域活性化が促進
- ・仙台からの広域観光の促進も期待される

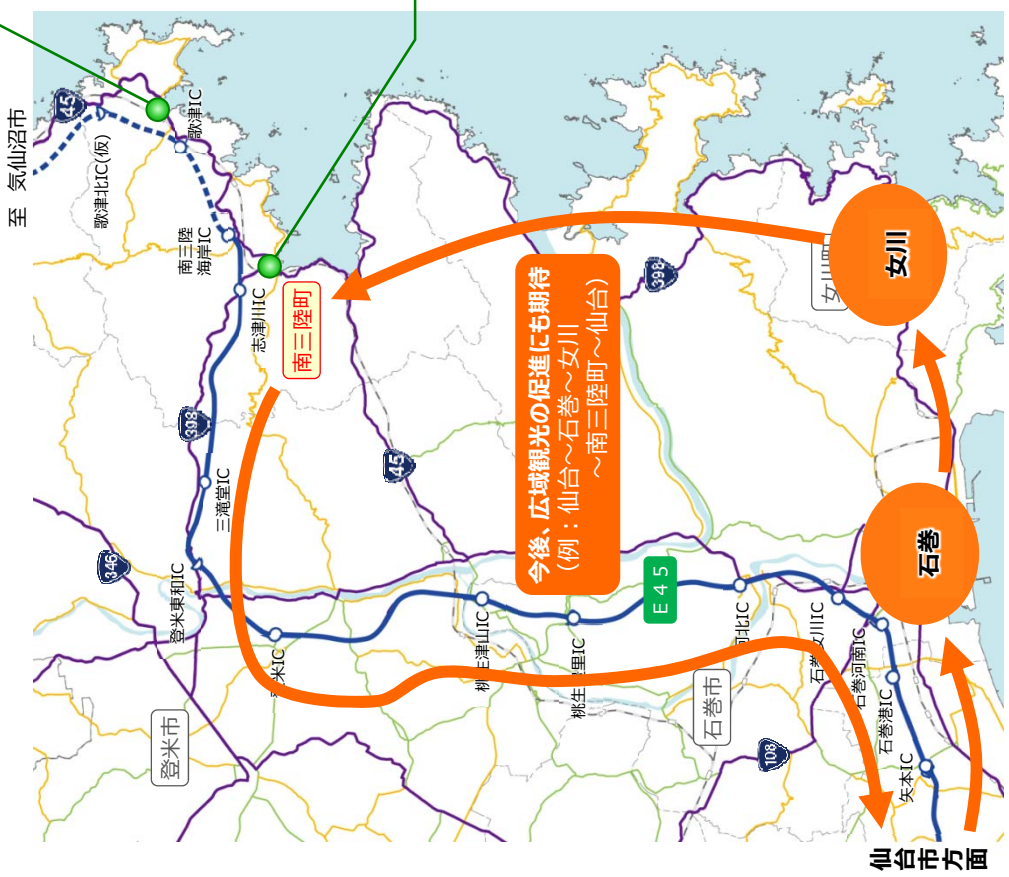
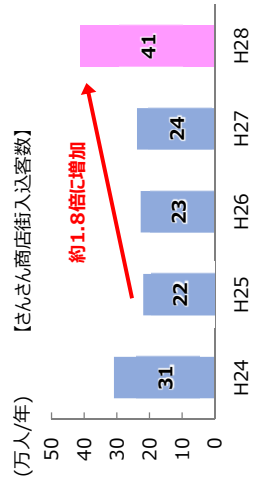
南三陸ハマレ歌津（旧伊里前福幸商店街）

- ・H29.4.23にオープン。
- ・GW期間中には最大15,000人/日が来場。



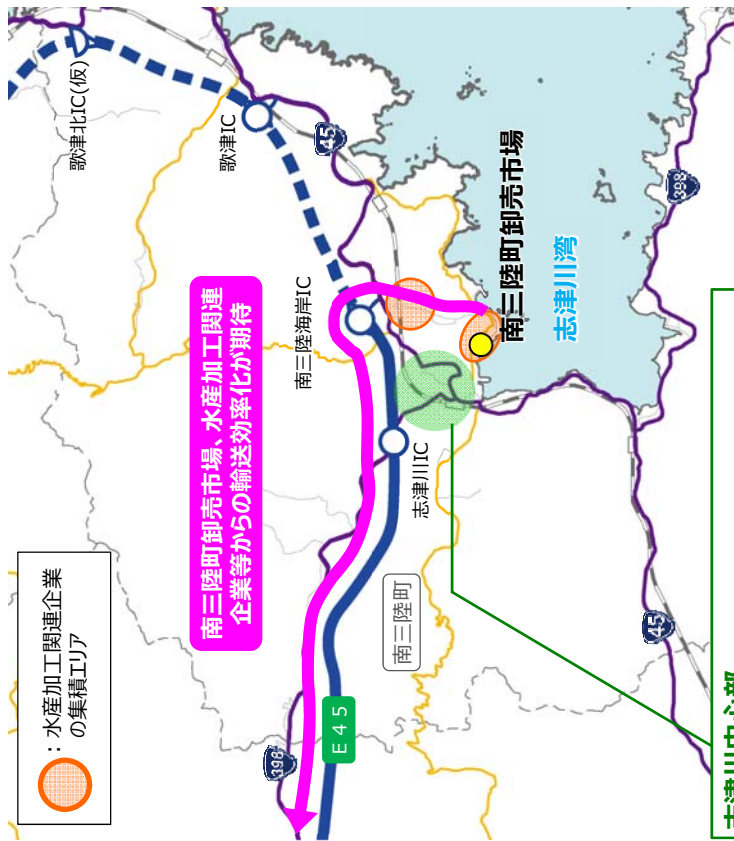
南三陸さんさん商店街

- ・H29.3.3にオープン。町外からも多くの人が訪れ、開業1ヶ月で約20万人、3ヶ月で約35万人が来場。
- ・商店街移転前も三陸沿岸道路の志津川IC供用（H28.10.30）により、H25以降の落ち込みから回復し、入込客数は約1.8倍に増加。



三陸沿岸道路の整備効果 ～水産業・水産加工工業の振興～

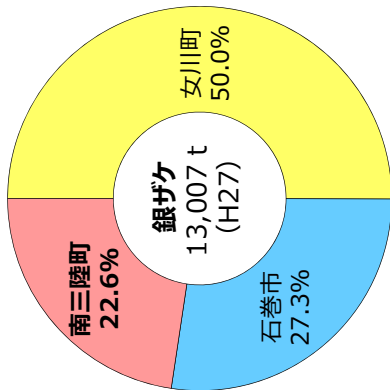
- ・南三陸町は、銀ザケ、わかめ等の養殖業や水産加工工業が盛んであり、全国的にも高いシェアを誇る
- ・水産物や水産加工品の輸送時、土地区画整理事業や賑わい拠点の集積が進む志津川中心部の回避が出来、安定した輸送により、水産物等の輸送の効率化及び輸送時間の短縮による卸売価格の上昇が期待される。
- ・また、志津川湾（藻場）はラムサール条約登録を目指しており、FSC（森林認証制度）、ASC（養殖認証制度）と併せて地域ブランド力の向上等も期待される



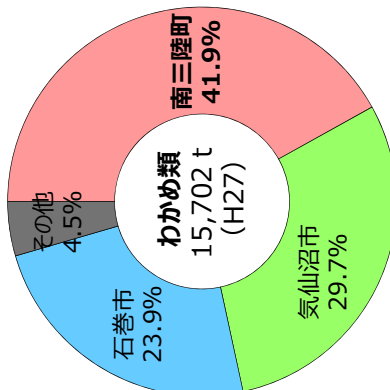
至 登米市・石巻市・仙台市

【宮城県、南三陸町の銀ザケ・わかめ類の収穫量】

宮城県は**全国第1位**
(全国シェア：93%)



宮城県は**全国第2位**
(全国シェア：32%)



資料：平成27年漁業・養殖業生産統計

志津川中心部

- ・土地区画整理事業が進み、H29.3にはさんさん商店街が移転オープンしたほか、道の駅や震災復興祈念公園も整備中。
- ・H29.7には(仮)アプルタウン南三陸ショッピングセンターもオープン予定。

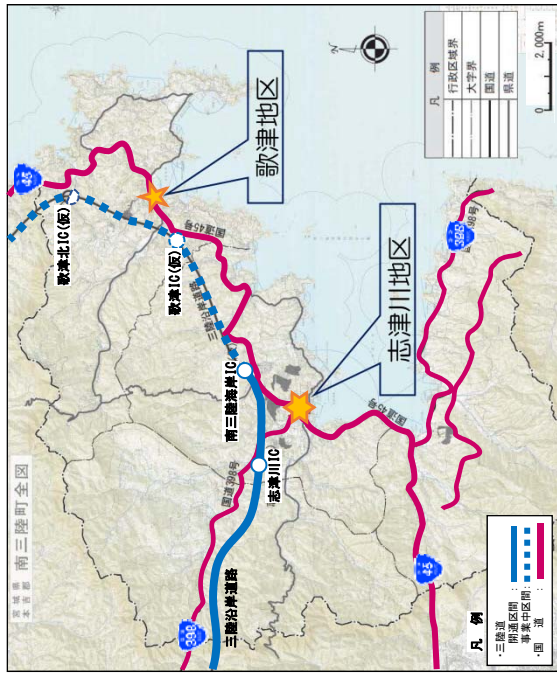
志津川湾のラムサール条約登録に向けた取り組み等

- ・H28.9.30、志津川湾の藻場を保護するため、平成30年にラムサール条約登録を目指す方針を固める。
- ・海藻の藻場の登録は国内では例がない。

南三陸町まちなか再生計画について

- ・南三陸町まちなか再生計画において、志津川地区・歌津地区は安全・安心かつ賑わいのある市街地の形成を目指すこととし、国道沿いを中心とした地域を町の暮らしやすいを支える「まちなか」として位置づけ
- ・三治道が延伸し、暮らしやすいを支える「2つのまちなか」の再生に寄与

まちなか再生計画の対象区域の位置



志津川地区 南三陸さんさん商店街



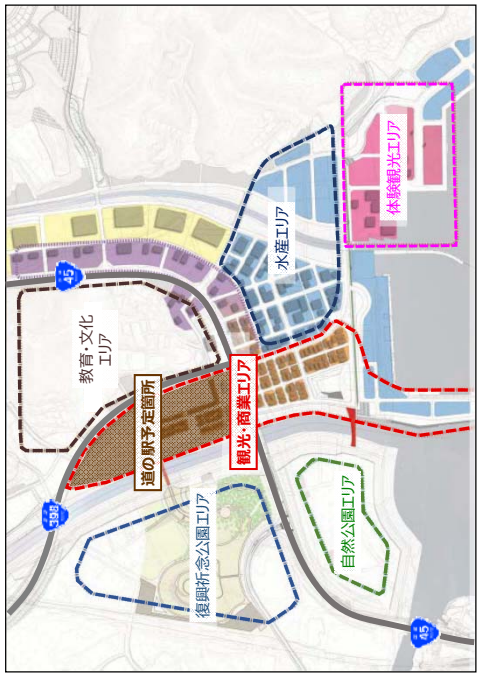
【GW期間中の様子】

歌津地区 南三陸ハマーレ歌津

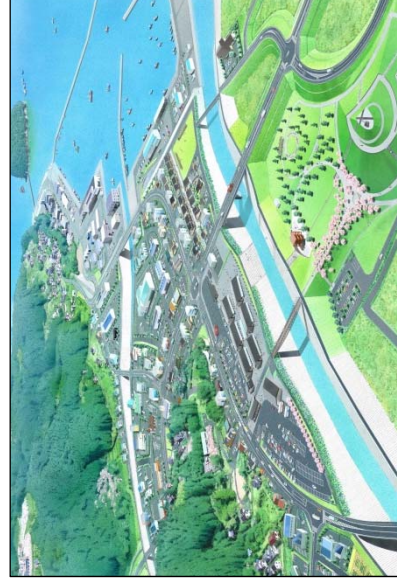


【GW期間中の様子】

志津川地区 エリア配置図



志津川市街地地区

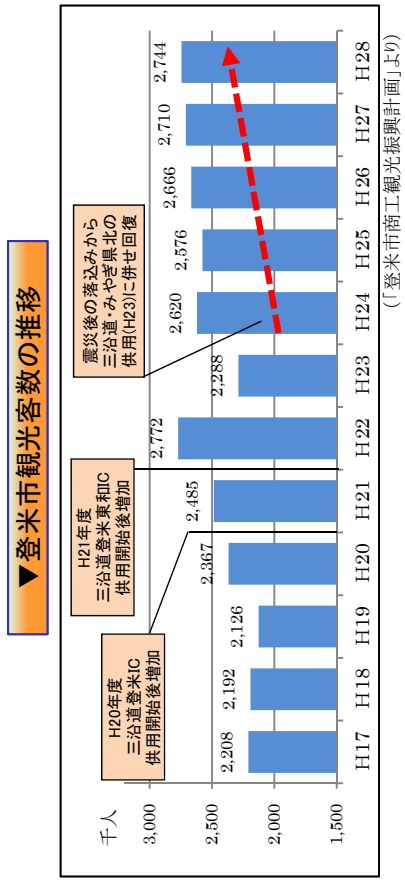
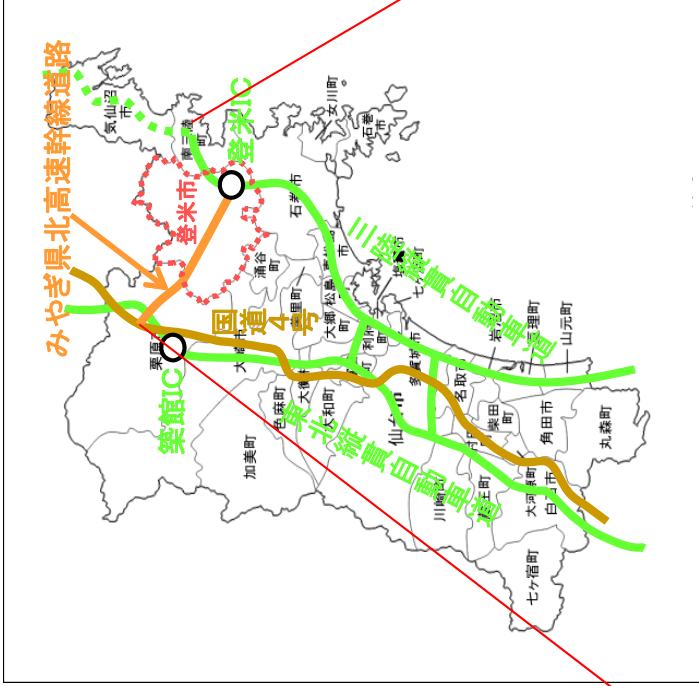


歌津（伊里前）地区

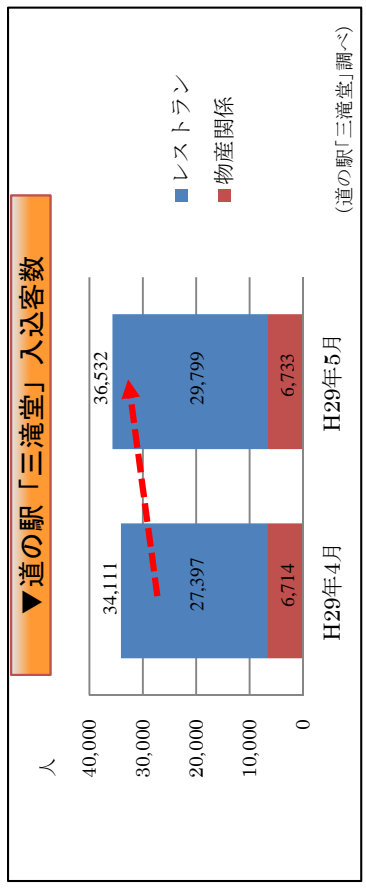


三陸沿岸道路の整備効果 ～観光客増加～

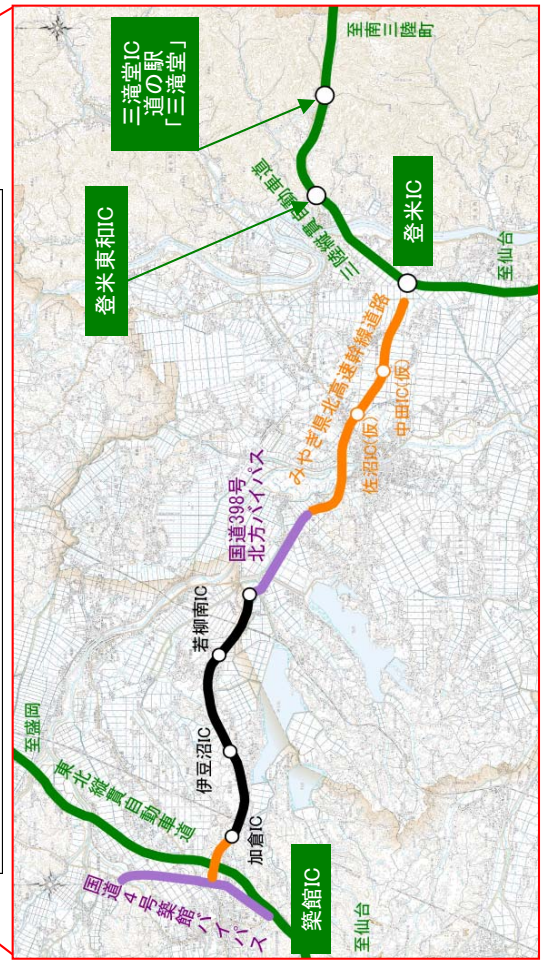
- ◆ 登米ICは、内陸部と沿岸部を結ぶ重要な「広域交流拠点」となっています。
- ◆ 三治道・三滝堂ICに隣接した「道の駅三滝堂」が平成29年4月1日完成し、内陸部と沿岸部の接続点として、登米市の総合的な観光窓口として、観光客数の更なる増加に期待できます。



◆ 「道の駅三滝堂」を登米地域及び内陸・沿岸地域の観光・交流のゲートウェイ(入り口)に位置づけ、市内にある四つの道の駅や物産販売施設などと連携した市内物産品の販売・PRはもとより、登米市全体の魅力発信の拠点施設として、登米市の観光・交流窓口の拡大を目指します。

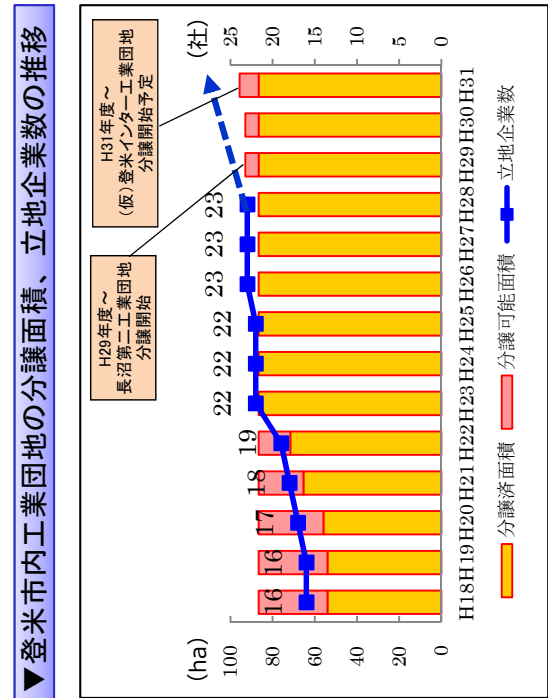
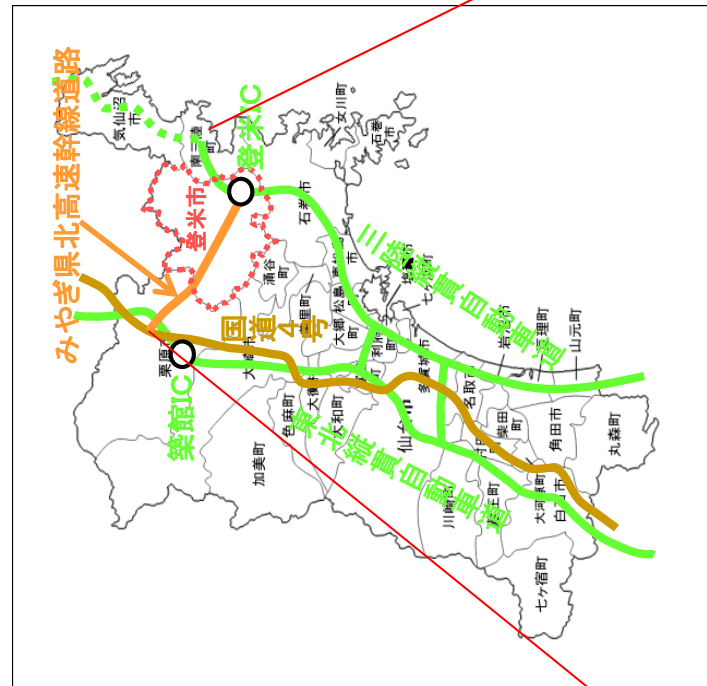


▼道の駅「三滝堂」G.W.の様子



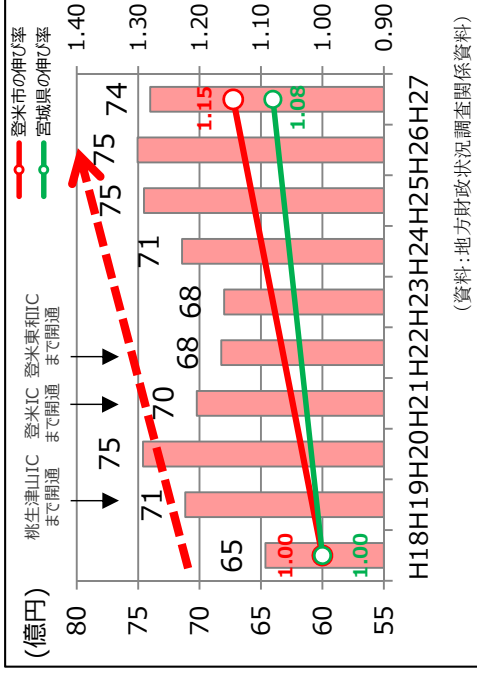
三陸沿岸道路の整備効果～工業団地分譲が加速化～

◆登米市では、三治道の延伸や、東北道と三治道を結ぶみやぎ県北高速幹線道路の整備を受け、工業団地の整備・分譲が進んでいます。

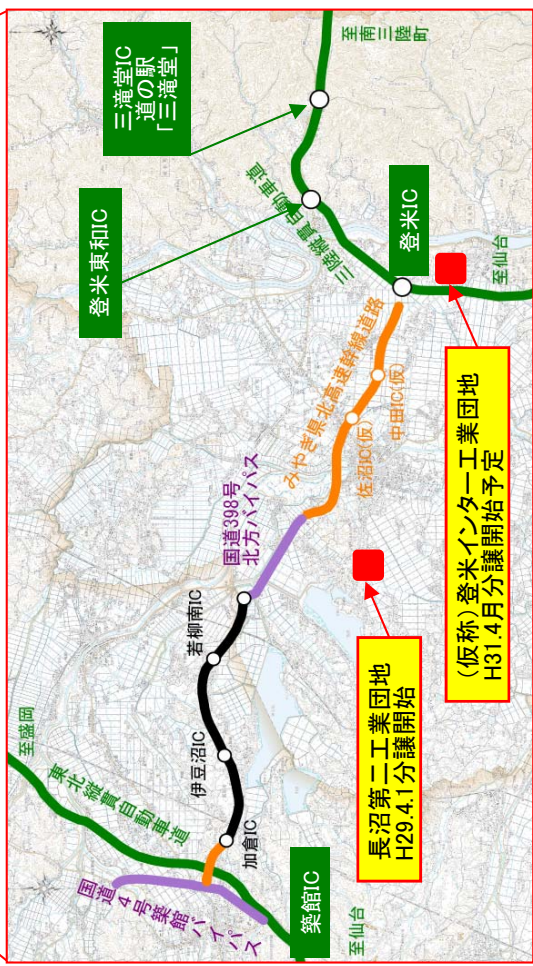


〔登米市の投資環境〕より作成

▼登米市の地方税歳入状況の推移

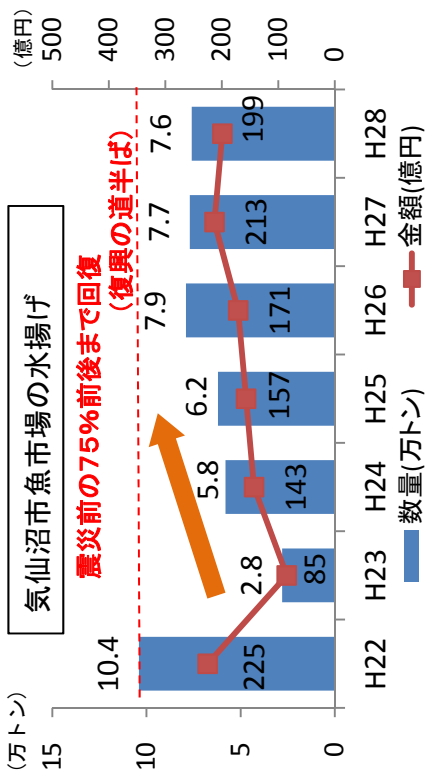


(資料:地方財政状況調査関係資料)

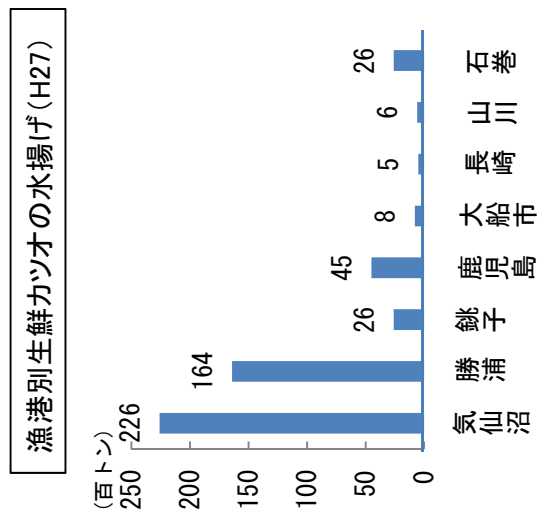


三陸沿岸道路の整備効果

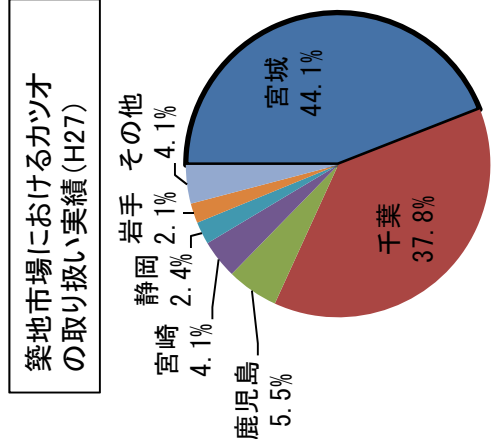
物流の効率化による水産業の復旧の加速化



資料:「気仙沼の水産」(気仙沼市発行)

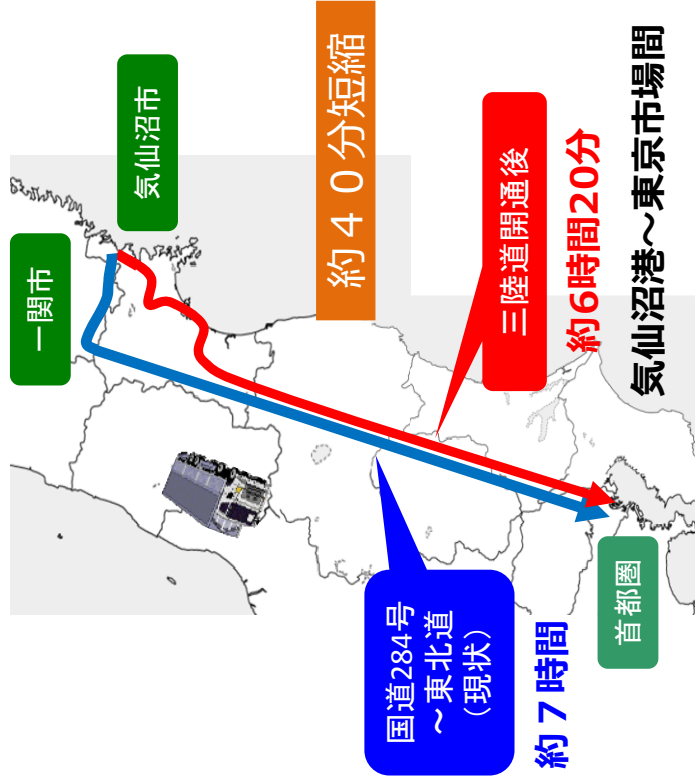


資料:産地推進物流通統計



資料:東京中央卸売市場HP

輸送経路と所要時間の変化



○気仙沼市魚市場の水揚げ量(数量)は震災前の75%の水準まで回復しましたが、ここ数年は足踏み状態が続いています。

○三陸沿岸道路の全線開通により、首都圏等へのさらなる輸送効率化・鮮度向上が図られ、取扱量(シェア)の増加が期待されます。また、中部・関西圏など出荷先の拡大が期待されます。

○三陸沿岸道路の整備により、水産業の復旧・復興の加速化が期待されます。

三陸沿岸道路の整備効果 - 物流の効率化による水産加工業の復旧の加速化 -

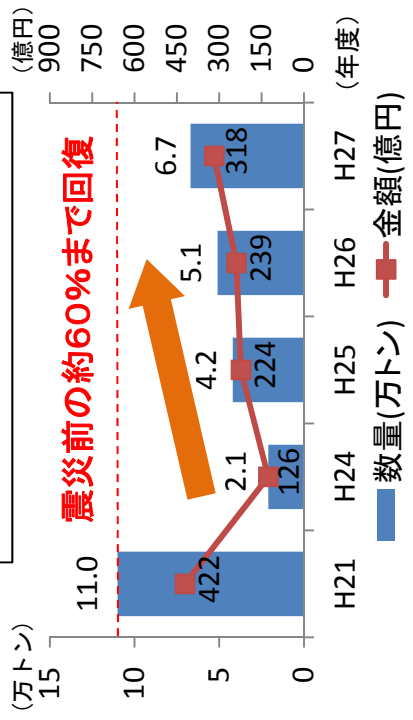


■ 気仙沼市赤岩水産加工団地 (約19.9ha)

区画数 14区画

(うち 稼働済 4区画(4社)
建設中 2区画(2社)
(H29. 3月末現在))

水産加工業の回復状況



資料:「気仙沼の水産」(気仙沼市発行)

○ 震災により壊滅的な被害を受けた水産加工業の生産額は震災前の約60%の水準まで回復しています。

○ (仮称)気仙沼港ICが開通すれば、仙台や首都圏へのアクセス向上により、水産加工業の復旧・復興の加速化が期待されます。

○ 稼働済みの4区画によって、正社員39名、非正社員35名の雇用が生まれており、今後も新たな雇用拡大につながることが期待されます。

【気仙沼市震災復興計画 重点事業 No.6】

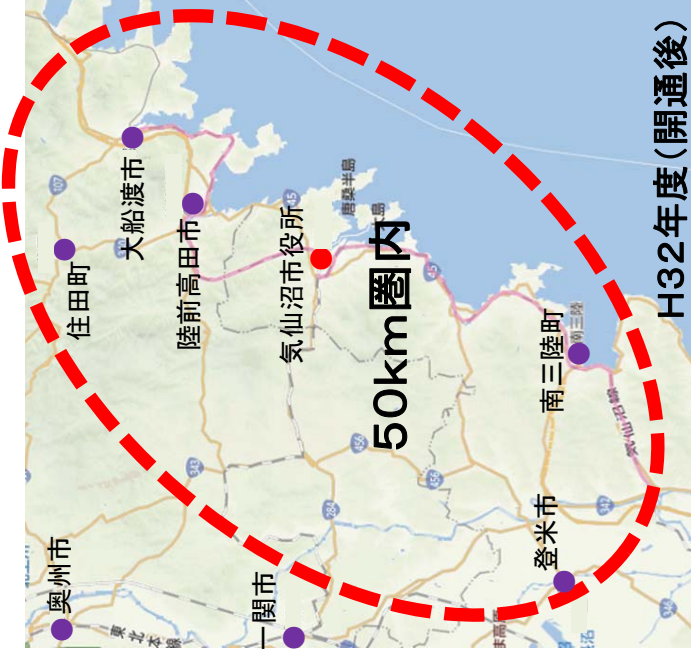
三陸沿岸道路の整備効果 — 交流人口の拡大 —



気仙沼市、一関市室根村・千厩町、
陸前高田市

25km圏内人口 約10万人

三陸沿岸道路 開通効果



気仙沼市、一関市室根村・千厩町、
陸前高田市、大船渡市、住田町、
一関市川崎町、南三陸町、登米市 など

50km圏内人口 約25万人

- 震災により人口が74,247人(H23.2)から65,387人(H29.4)に減少。
- 三陸沿岸道路の開通により、40～50分程度で移動できる範囲が広がり、通勤圏や生活圏が拡大し、交流人口の増加による経済効果が期待できます。

三陸沿岸道路の整備効果

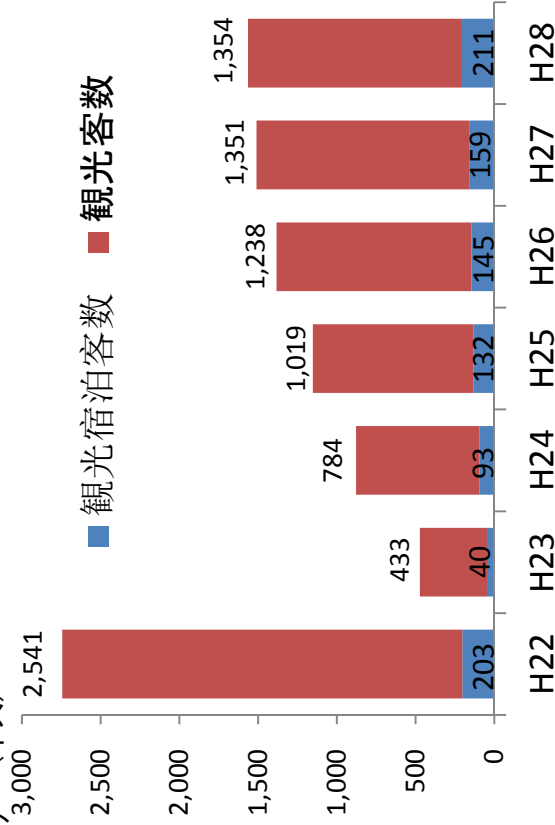
—新たな観光スポット—



至 陸前高田

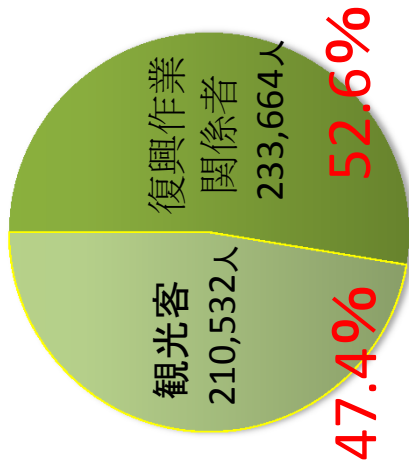
至 仙台

(仮称)気仙沼湾横断橋：L=1,344m (斜張橋部分：L=680m) (千人)



資料：気仙沼市観光客入込み数調査

H28宿泊客の内訳



資料：気仙沼市観光客入込み数調査

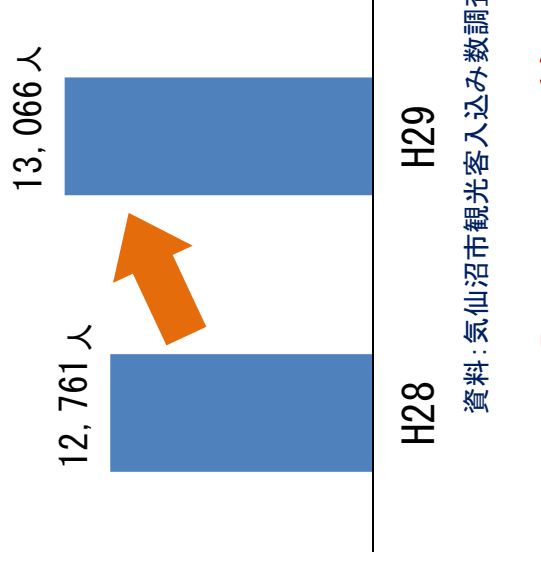
- 観光客数は震災前の53.3%で、宿泊客の半数以上が復興作業関係者となっています。
- 今後は復興事業が縮小していくことが予想されることから、観光客の新たな誘致が必要になってきます。
- 新たな観光スポットとして(仮称)気仙沼湾横断橋に大きな期待が寄せられています。

三陸沿岸道路の整備効果 - 観光面での効果 -

○「石巻女川IC～桃生豊里ICの4車線化」と「登米志津川道路と南三陸道路（南三陸海岸ICまで）の整備」により、仙台～気仙沼間が26分短縮しました。

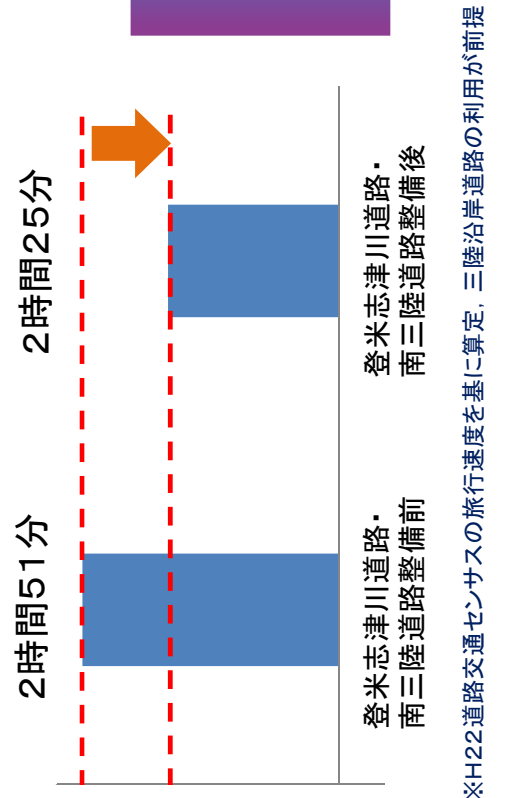
○当市への観光客の約95%が自動車（自家用車・レンタカー・バス・バイク）での来訪（「気仙沼市内観光客実態調査（平成28年4月実施）」であり、三陸沿岸道路の整備効果によって、今年度のゴールデンウィーク期間中の観光客数（1日あたり）は前年度比102.4%となりました。

GW中の観光客数(1日あたり)



資料：気仙沼市観光客入込み数調査

仙台～気仙沼の所要時間



※H22道路交通センサスの旅行速度を基に算定、三陸沿岸道路の利用が前提

26分短縮

観光客数の増加

あの日を忘れず ともに未来へ 東松島一心

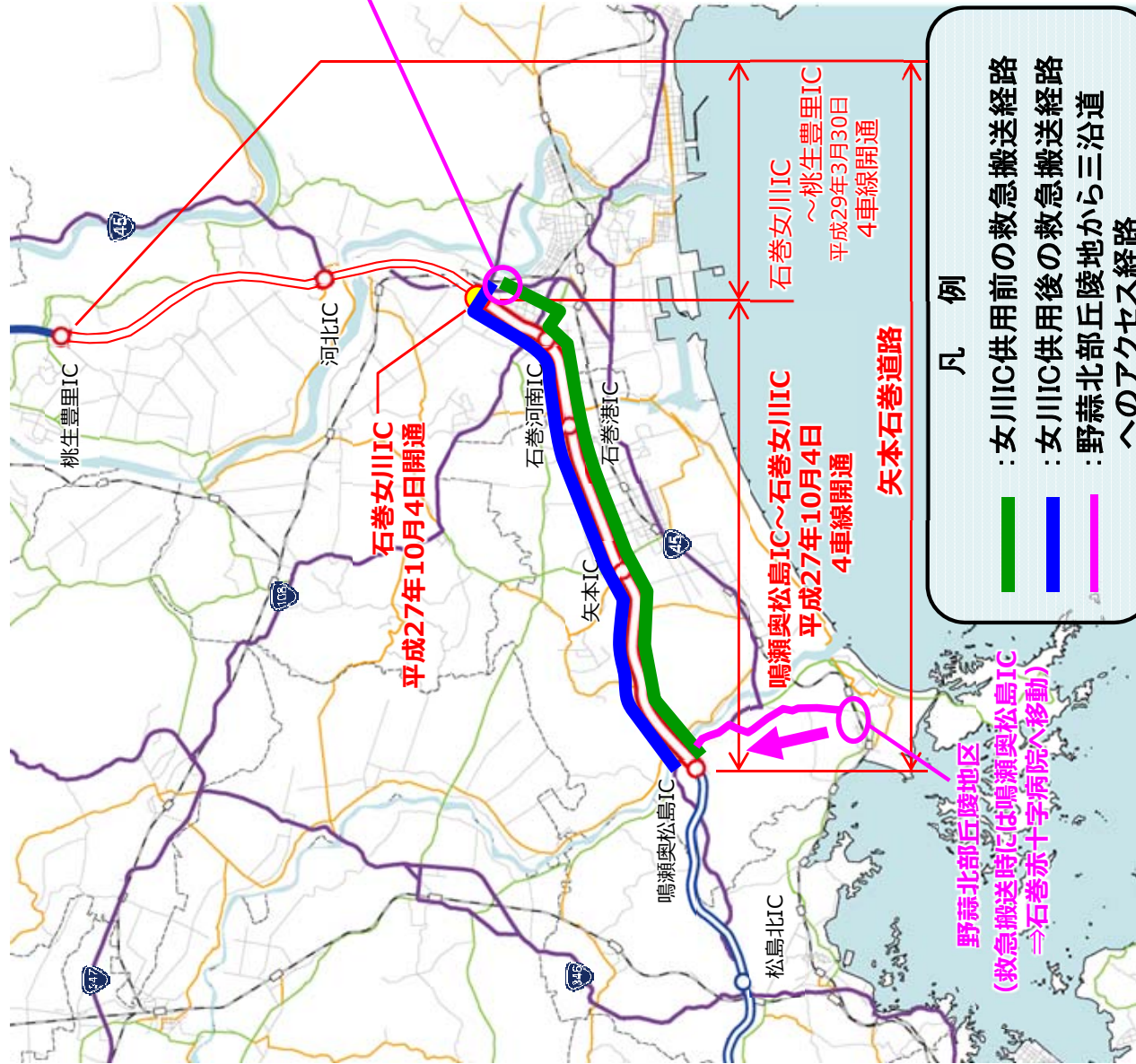


三浴道の4車線化の整備効果・利活用策



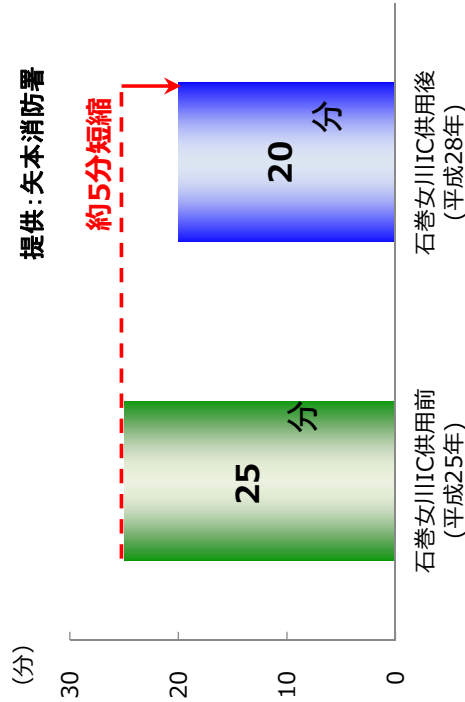
三治道の4車線化の整備効果・活用策

救急搬送時間の短縮



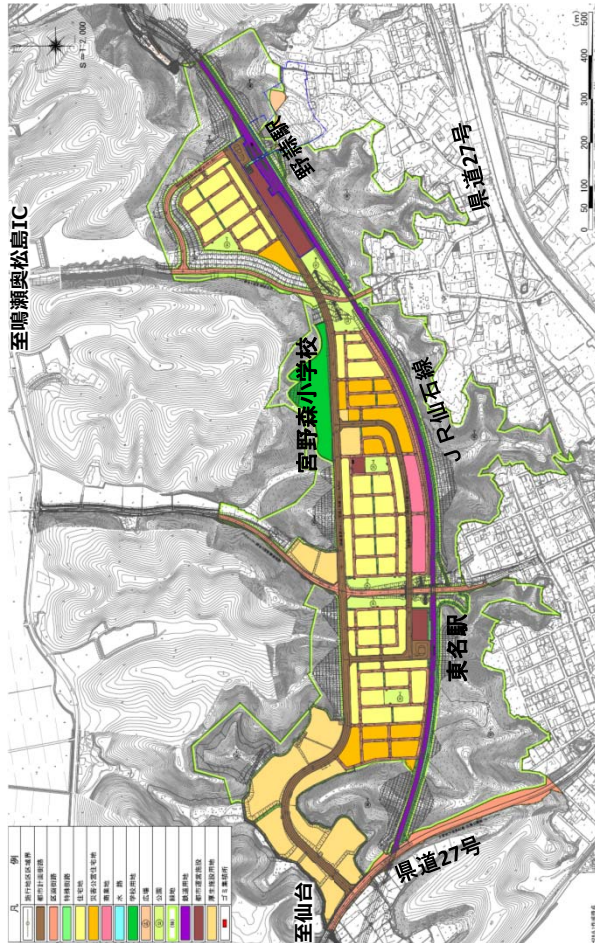
従来は石巻河内ICから、一般道を利用する必要があったが、病院前に石巻女川ICが完成したことにより、本市野蒜地区からの搬送時間が約5分間短縮された。

【野蒜地区～石巻赤十字病院 間の搬送時間】



三沿道の4車線化の整備効果・活用策

野蒜北部丘陵地区（野蒜ヶ丘地区）の概要



(地図データ:2017 Google)

1.復興方針

野蒜北部丘陵地区は、東北地方太平洋沖地震による被災地区の移転先として、「東松島市復興まちづくり計画」(H23.12)に基づき、安全性を確保と居住地等の集約化を図り、居住環境に優れた市街地を整備します。

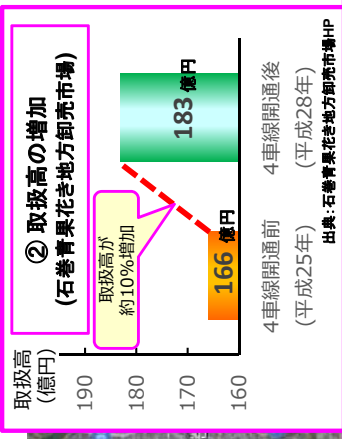
2.事業の概要

- (1)目的 東北地方太平洋沖地震による被災地区の移転先として、住宅用地や公益施設用地を整備し、安全で快適な市街地の形成を図ります。
- (2)施行者 東松島市(公共団体施行)
[UR都市機構が事業受託]
- (3)施行地区 宮城県東松島市野蒜、大塚
地区面積：約 91.5ha
- (4)設計の概要
・計画人口：約1,370人
・計画戸数： 448戸
[防災集団移転:278戸、災害公営住宅:170戸]
- (5)事業期間 平成24年9月～平成29年3月
(平成28年11月に防災集団移転用地278区画の完成引渡し完了)
- (6)総事業費 約414億円

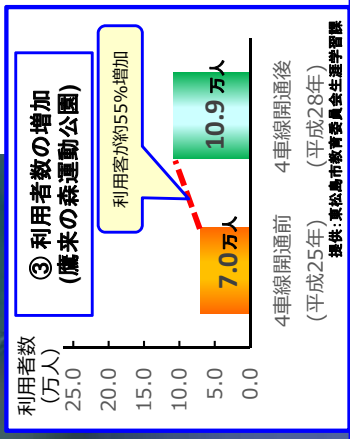
(住宅地の街並みイメージ)



三沿道の4車線化の整備効果・活用策



4車線化整備が完了し、ICに近い青果市場へのアクセスが向上したことから、市場が拡大



4車線化整備が完了し、市内のスポーツ施設の利便性が向上したことにより利用者が増加した

アクセス向上による効果


- ① 観光客の増加
- ② 物流の効率化による市場拡大
- ③ スポーツ施設利用人口の増加

(地図データ：2017 Google)

復興道路・復興支援道路の整備効果事例発信

○復興道路・復興支援道路の開通による、整備効果事例等を幅広く情報発信するため、東北地方整備局の復興道路ホームページにおいて、整備効果事例等を掲載したページを開設

3.11 復興道路・復興支援道路情報サイト



このホームページは、「復興道路」「復興支援道路」の進捗状況を国民の皆様方にお伝えするために作成しているものです。

「東北の道路」の総合情報サイト

復興道路の概要

事業進捗状況

開通目標

整備効果事例


各県のお問合せ

リンク

○整備効果事例を掲載しました

復興道路・復興支援道路の概要

下図の県名・市町村名・路線名をクリックすると詳細ページへ移動します。



復興道路・復興支援道路の総延長550km
H23 補正新規区間223km (41%)

路線名	計画延長	H29.3.30時点		うち	
		供用中	事業中	H23補正新規	H25新規
三陸沿岸道路	359km	170km	189km	148km	—
宮古盛岡横断道路	66km	24km	42km	35km	—
東北横断自動車道 釜石秋田線	80km	63km	17km	17km	—
東北中央自動車道	45km	11km	34km	11km	12km
合計	550km	268km	282km	211km	12km

PDFダウンロード

↑ここから↑

● 記者発表

- 平成 29 年
- 6月14日 復興道路・復興支援道路の整備は精進に達し～被災地の復興に大きく貢献～
- 6月2日 岩手県 『公共ブランド』（釜石地区）が生コン安定供給に貢献～三陸沿岸道路「新巖台トンネル」への生コン供給が終了～
- 5月18日 岩手県 【宮古盛岡横断道路（宮古横石道路）】下川井地区でトンネル北安全折戻架を開通～5月18日（木）下川井トンネル北工事の安全折戻架を開通～

これ以前の情報はコチラ

● 進捗に関する新規情報

- 5月31日 【宮古盛岡横断道路 宮古横石道路 下川井トンネル（仮）安全折戻架】の開通状況を掲載しました。
- 4月25日 【三陸沿岸道路、菅代道路、菅代小・中学校合同津波避難訓練】の開通状況を掲載しました。
- 3月30日 【三陸沿岸道路、田老岩泉道路（仮）新小本大橋補修工事】の開通状況を掲載しました。

● 県別進捗状況

青森県

岩手県

宮城県

福島県

● 路線別進捗状況

三陸沿岸道路
(仙台港北～八戸)CT

宮古盛岡横断道路
(宮古～盛岡)

東北横断自動車道
釜石秋田線 (釜石～花巻)

東北中央自動車道
(相馬～福島)

● 事業促進PPP

事業促進PPP

● 関連リンク

宮城県北高速幹線道路

三陸沿岸道路、横断道、中央道のルートについて

[ページの先頭へ](#)

整備効果事例

復興道路の概要

事業進捗状況

開通目標

整備効果事例

各県のお問合せ

リンク

Copyright©2004 Tohoku Regional Bureau Ministry of Land,Infrastructure and Transport, All Rights Reserved.
国土交通省東北地方整備局 定例誌
ホームページに関するご意見・ご感想がございましたら、the-webmaster@mlit.go.jpまでお問い合わせください。リンク・著作権・プライバシーポリシー等については[こちら](#)をご覧ください。アクセスログによる統計分析については、[こちら](#)をご覧ください。東北地方整備局の住所は[こちら](#)をご覧ください。

復興道路・復興支援道路の整備効果事例発信

○整備効果事例ページでは、路線別に整備効果事例等を掲載しており、今後開通の動きがあった場合など、随時更新予定

3.11 復興道路・復興支援道路情報サイト



このホームページは、「復興道路」「復興支援道路」の進捗状況を国民の皆様にお伝えするために作成しているものです。

「東北の道路」の総合情報サイト

検索

復興道路の概要

事業進捗状況

開通目標

整備効果事例

各県のお問合せ

リンク

■整備効果事例

【三陸沿岸道路】

◇整備効果事例

- 三陸道延伸・4車線化に伴う企業立地の促進
- 地域経済を支える国内有数の畜産業（鶏卵）を支援
- 地域の基幹産業である水産業の発展を支援
- 世界遺産 橋野鉄鉱山などの観光地域を後押し 三陸の観光支援
- フェリー就航で北海道との広域交流が活性化
- 救急搬送患者の負担軽減と搬送時間が短縮

◇関連データ等

- [\(岩手県内\) 交通量及び所要時間の変化 \(H17～H27\)](#)
- [\(宮城県内\) 交通量及び所要時間の変化 \(H22～H29\)](#)

【宮古盛岡横断道路】

◇整備効果事例

- 物流の効率化を促進し地域産業の活性化を支援
- 周遊観光圏域を拡大し、観光振興に寄与
- 迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に貢献

◇関連データ等

- [交通量及び所要時間の変化 \(H22～H28\)](#)

【東北横断自動車道釜石秋田線】

◇整備効果事例

- 釜石港のコンテナ取扱量・利用企業数の増加に貢献
- 企業の増設・新設が進み、工業団地の拡張も決定
- 自動車関連部品の輸送効率化を支援（さらに1往復可能へ）
- 内陸と沿岸を結ぶ周遊観光が促進し、インバウンド観光も増加
- 「ラグビーワールドカップ2019」の釜石開催を支援

◇関連データ等

- [交通量及び所要時間の変化 \(H11～H28\)](#)

【相馬福島道路】

◇整備効果事例

- 相馬港と内陸部との連携が強化され、地域産業が活性化
- 救急医療施設への到達性・搬送中の安定性向上
- 交流人口拡大を支援

◇関連データ等

- [交通量及び所要時間の変化 \(H22～H29\)](#)

復興道路の概要

事業進捗状況

開通目標

整備効果事例

各県のお問合せ

リンク

Copyright©2004 Tohoku Regional Bureau Ministry of Land,Infrastructure and Transport, All Rights Reserved.

国土交通省東北地方整備局 道路部

ホームページに関するご意見、ご指摘がございましたら、thr-webmaster@milit.go.jpまでお願い致します。リンク・著作権・プライバシーポリシー等については[こちら](#)をご覧ください。アクセスログによる統計分析については、[こちら](#)をご覧ください。東北地方整備局の住所は[こちら](#)をご覧ください。

